

令和2年度
埼玉県産業廃棄物処理実績報告等
集計業務報告書
(令和元年度実績)

令和3年3月



埼玉県

目 次

第1章 調査概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査対象期間	1
1.3 調査対象廃棄物	1
1.4 調査対象業種	2
1.5 語句の定義	2
1.6 産業廃棄物の処理フロー	3
1.7 廃棄物処理基本計画の目標値	4
第2章 産業廃棄物の排出量及び処理量の推計	5
2.1 推計方法	5
2.2 推計結果	12
第3章 行政報告の入力、整理	26
3.1 産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力、整理	26
3.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書データの入力、整理	30
資料編	32
1. 県内産業廃棄物処理施設での品目別及び処理方法別の処分量	33
2. 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量 (県内処分量、県外運搬量)	41
3. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)の県内・県外別、 運搬先別、品目別運搬量	42
4. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量	47
5. 産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	52
6. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	54

第1章 調査概要

1.1 調査の目的

本調査は、産業廃棄物処分業者等から報告された令和元年度の産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物排出事業者から報告された産業廃棄物処理計画実施状況報告書や産業廃棄物管理票交付等状況報告書等のデータを入力、集計、解析するとともに、県内における令和元年度の産業廃棄物の排出と処理の実態を推計し、把握することを目的とした。

1.2 調査対象期間

令和元年度：平成31年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月31日

1.3 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」(以下、「廃棄物処理法」とする。)に定められた産業廃棄物及び「その他(混合廃棄物)」を加えた21種類を対象とした。

表1.3-1 調査対象廃棄物

1：燃え殻	12：ゴムくず
2：汚泥	13：金属くず
3：廃油	14：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
4：廃酸	15：鉱さい
5：廃アルカリ	16：がれき類
6：廃プラスチック類	17：動物のふん尿
7：紙くず	18：動物の死体
8：木くず	19：ばいじん
9：繊維くず	20：政令第十三号廃棄物
10：動植物性残さ	21：その他(混合廃棄物)
11：動物系固形不要物	

1.4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成25年10月改定）に基づく業種区分を基本とし、表1.4-1のとおりとした。

表1.4-1 調査対象業種

調査対象業種	分類される業種
農林漁業	農業、林業、漁業
鉱業	鉱業、採石業、砂利採取業
建設業	総合工事業、職別工事業、設備工事業
製造業	食品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業など
電気・ガス・水道業	電気業、ガス業、熱供給業、水道業
情報通信業	通信業、放送業、情報サービス業など
運輸業	鉄道業、道路旅客運送業、水運業、倉庫業など
卸・小売業	各種商品卸売業、各種商品小売業
物品賃貸業	不動産取引業、不動産賃貸業、物品賃貸業
学術研究、技術サービス業	学術・開発研究機関、専門サービス業など
飲食業	宿泊業、飲食店など
生活関連サービス業	洗濯・理容・美容・浴場業、娯楽業など
医療	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
サービス業 (他に分類されないもの)	金融・保険業、郵便局、協同組合、廃棄物処理業、自動車整備業、宗教、公務など

1.5 語句の定義

- ① 排出量：「第8次埼玉県廃棄物処理基本計画」（平成28年3月発行）から国との整合性を考慮して使用しているもので、排出量は有償物量を除いたもの。

$$\text{発生量} = \text{排出量} + \text{有償物量}$$

1.6 産業廃棄物の処理フロー

産業廃棄物の発生から最終処分までの一連の流れは、図1.6-1に示すとおりである。また、処理フロー図の用語について表1.6-1に示す。

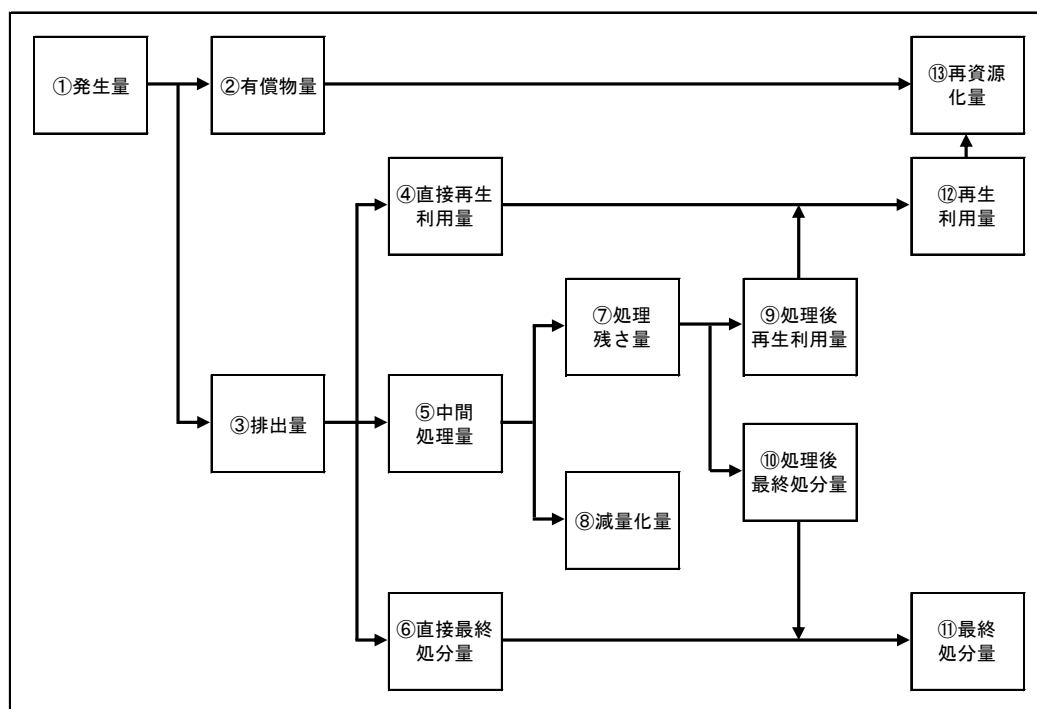


図1.6-1 産業廃棄物の処理フロー

表1.6-1 処理フロー図の用語

項目	定義
①発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
②有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
③排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
④直接再生利用量	他者に有償売却できないものを自ら利用した量
⑤中間処理量 (自己、委託)	排出量のうち、自己、委託中間処理を含め、中間処理された量
⑥直接最終処分量	排出量のうち、中間処理されずに排出事業者又は処理業者により最終処分された量
⑦処理残さ量 (自己、委託)	中間処理された後の廃棄物量
⑧減量化量 (自己、委託)	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量
⑨処理後再生利用量 (自己、委託)	処理残さ量のうち、処理業者等で自ら利用又は他者に有償で売却した量
⑩処理後最終処分量 (自己、委託)	処理残さ量のうち、最終処分された量
⑪最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
⑫再生利用量	排出事業者、処理業者等で再生利用された量
⑬再資源化量	有償物量と再生利用量の合計

1.7 廃棄物処理基本計画の目標値

「第8次埼玉県廃棄物処理基本計画」における産業廃棄物の目標指標は、「最終処分量」となっており、目標値は次のとおりである。

① 最終処分量

令和2年度の最終処分量を175千トンに削減

※平成25年度実績（194千トン）比、10%削減

第2章 産業廃棄物の排出量及び処理量の推計

2.1 推計方法

令和元年度に実施した産業廃棄物実態調査、産業廃棄物処理実績調査データ等と、第3章で整理した多量排出報告書、産業廃棄物管理票交付等状況報告書等のデータを用いて、令和元年度に埼玉県内で発生した産業廃棄物の排出量、再生利用量、最終処分量等の推計を行った。

また、下水道施設、農業（農業用プラスチックを除く）等に関する資料データは、表2.1-1に示す資料を用いた。

(1) 排出量の推計

排出量の推計は図2. 1-1に示すフローに従って行った。

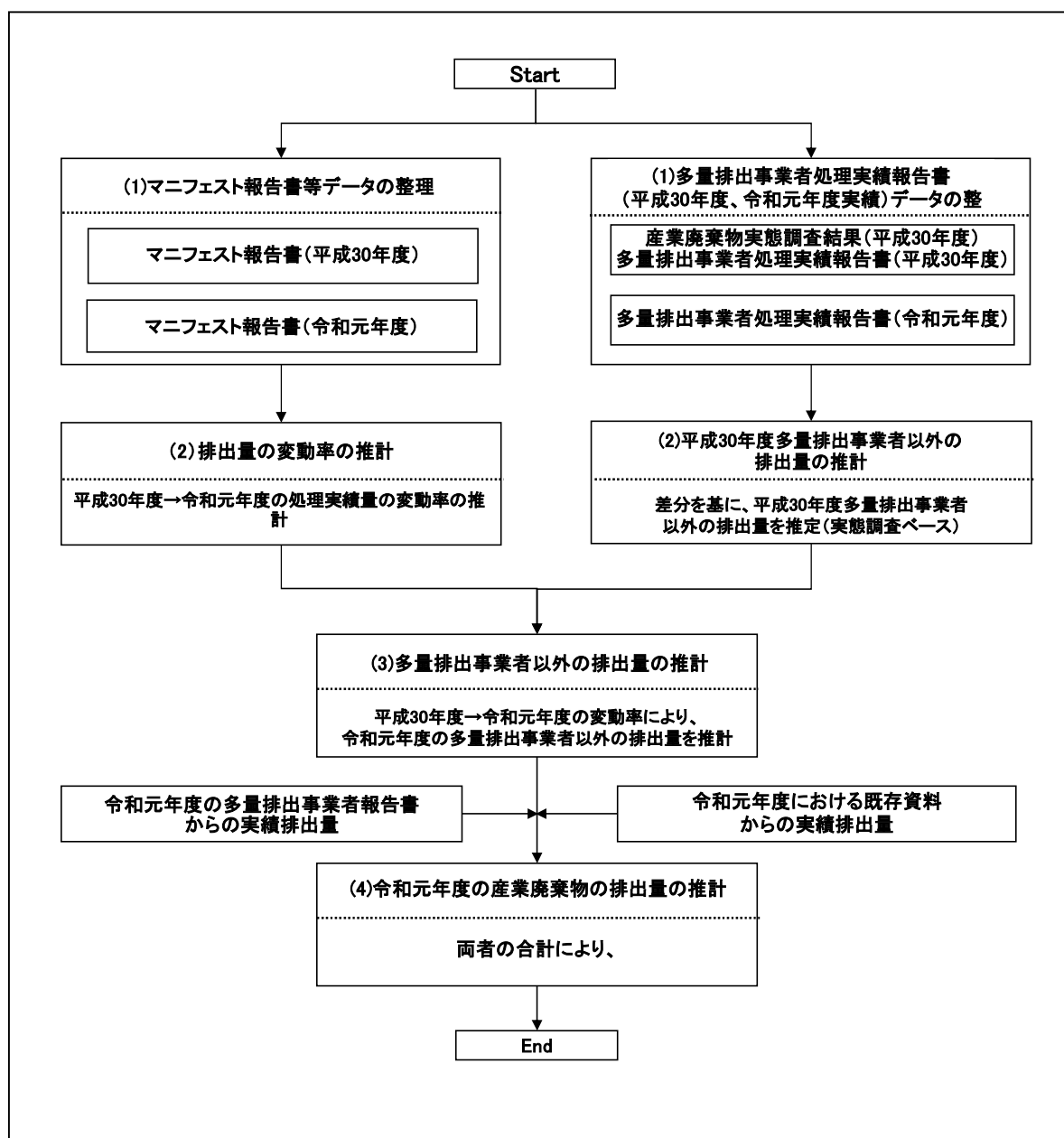


図2. 1-1 推計方法

③-1 排出量（多量排出事業者）

多量排出事業者の令和元年度の排出量（種類別、業種別）については、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力」で整理した実績値（平成30年度、令和元年度実績の提出がある事業者）を用いた。

③-2 排出量（多量排出事業者以外）

令和元年度の多量排出事業者以外の排出量を算出し、平成30年度実績から令和元年度実績のマニフェスト報告書排出量の増減率（A）を算出し、先に算出した多量排出事業者以外の排出量にこの増減率（A）を乗じて令和元年度の排出量（多量排出事業者以外）を推計した。

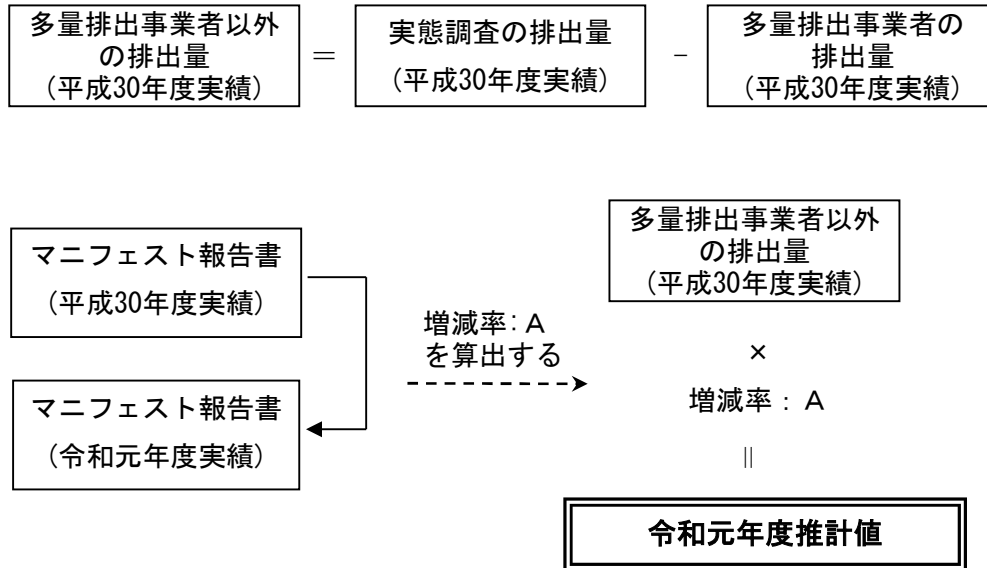


図2.1-2 排出量（多量排出事業者以外）の推計方法

③-3 排出量（農林漁業、鉱業、電気・ガス・水道業）

排出量の推計は「③-1 排出量（多量排出事業者）」「③-2 排出量（多量排出事業者以外）」の手法を基本としたが、農林漁業、鉱業の排出量の変動率については、マニフェスト報告書において把握することは困難であるため、既存資料により推計した。また、電気・ガス・水道業の「汚泥」については、別途まとめられている実績値を用いることとした。

表2.1-1 既存資料からの推計

業種	推計方法
農林漁業	動物のふん尿：平成30、令和元年度 畜産関係資料（埼玉県農林部畜産安全課） （平成30年度：700 千t、令和元年度：691 千t） 農業用廃プラスチック類：農業産出額の変動率より推計 （平成30年度：1,758億円、令和元年度：1,678億円）
鉱業	汚泥など：鉱工業指数（生産）の変動率より推計 （平成30年度：101.3、令和元年度：96.4）
電気・ガス・水道業	下水道汚泥：平成30、令和元年度下水道維持管理年報（財団法人埼玉県下水道公社）

② 有償物量

有償物量は、変動を把握することが困難であるため、「③ 排出量」と同様の変動率を用いて、推計を行った。

① 発生量

発生量は、「③ 排出量」と「② 有償物量」の合計であり、「③ 排出量」と「② 有償物量」の合計値とした。

(2) 処理・処分状況の推計

前述の方法で推計した排出量を用いて、種類別、業種別に処理・処分状況を推計した。廃棄物の処理・処分状況は、埼玉県内の産業廃棄物処分業者が処分を行う部分については、排出量の推移により推計した。

また、実績報告書等では把握できない排出事業者の自己処理（脱水、焼却等）に伴う減量化量や最終処分量等については、これらの処理施設を有する事業者の大部分が多量排出事業者であると仮定し、多量排出事業者報告書から推計した。

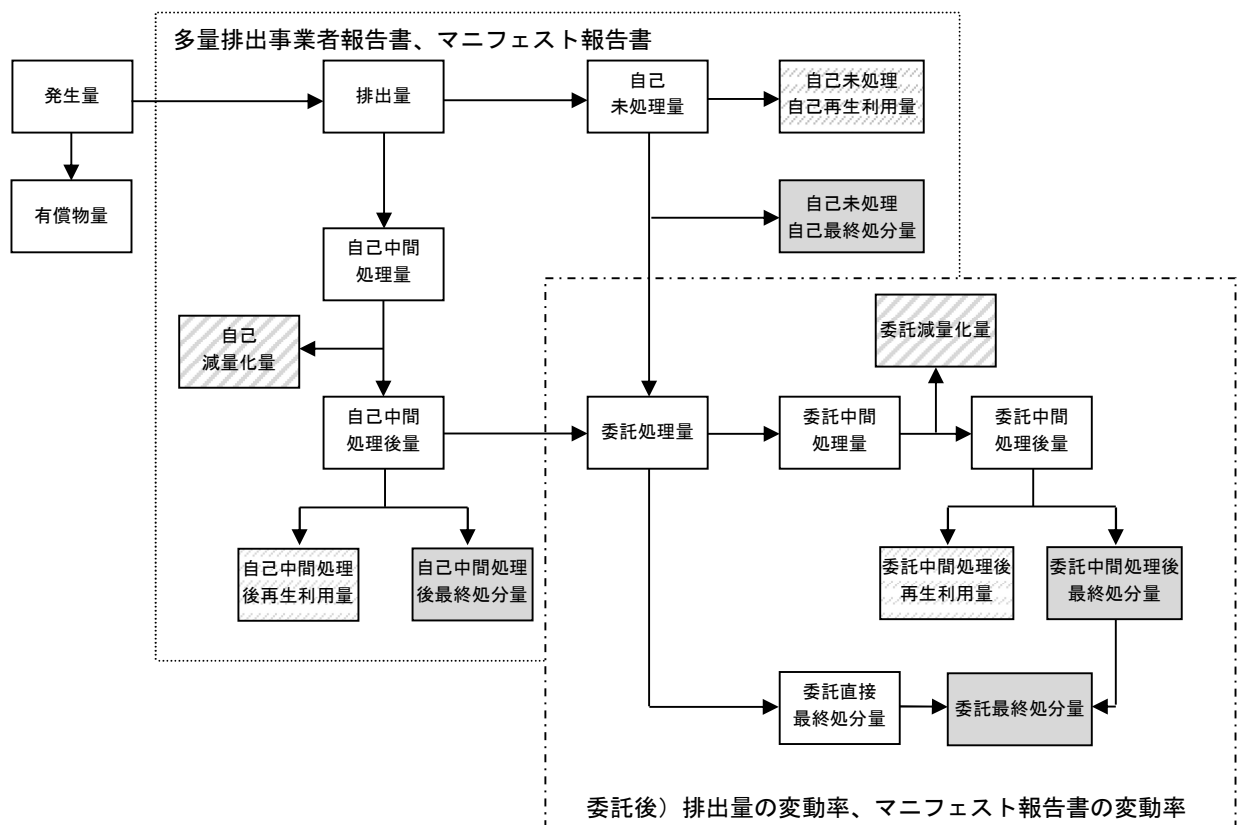


図2.1-3 産業廃棄物の処理・処分状況の把握手法概略図

④ 直接再生利用量

多量排出報告書の令和元年度の直接再生利用量について、平成30年度との増減率（B）を算出し、実態調査（平成30年度実績）の直接再生利用量にこの増減率（B）を乗じて令和元年度の直接再生利用量を推計した。

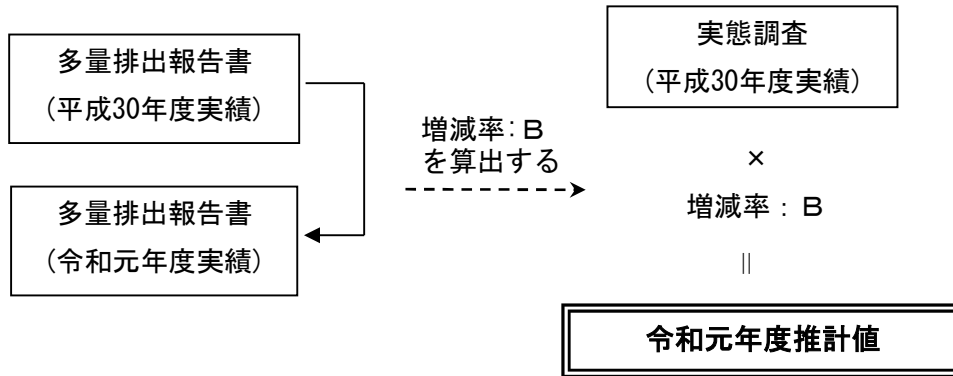


図2.1-4 直接再生利用量の推計方法

⑤-1 中間処理量（自己中間処理量）

中間処理量（自己中間処理量）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

⑤-2 中間処理量（委託中間処理量）

中間処理量（委託中間処理量）は「③排出量」から「④直接再生利用量」、「⑧-1自己減量化量」、「⑨-1処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑩-1処理後最終処分量（自己中間処理後）」、「⑥直接最終処分量」を減じた量とした。

⑥ 直接最終処分量

直接最終処分量は、マニフェスト報告書の令和元年度の委託量（埼玉県内発生分）について、平成30年度との増減率（C）を算出し、実態調査（平成30年度実績）の直接最終処分量にこの増減率（C）を乗じて令和元年度の直接最終処分量を推計した。

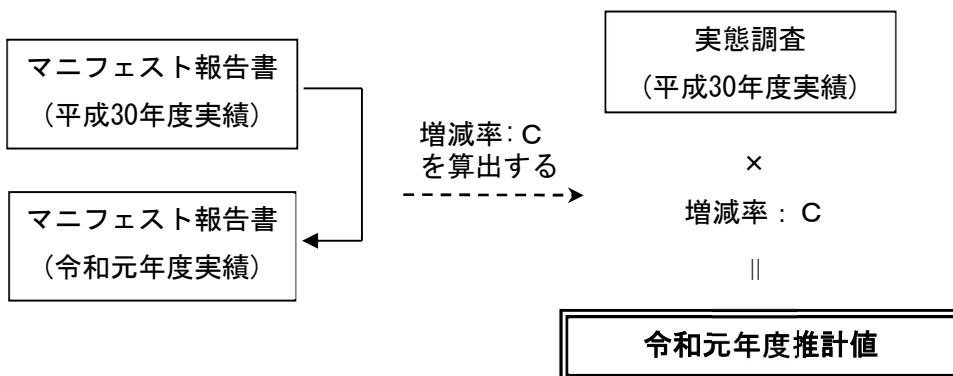


図2.1-5 直接最終処分量の推計方法

⑦-1 処理残さ量（自己中間処理後）

処理残さ量（自己中間処理後）は、後述する「⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）」の合計とした。

⑦-2 処理残さ量（委託中間処理後）

処理残さ量（委託中間処理後）は、後述する「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」、「⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）」の合計とした。

⑧-1 減量化量（自己中間処理後）

「⑤-1 中間処理量（自己中間処理量）」と「⑦-1 処理残さ量（自己中間処理後）」との差分により推計した。

⑧-2 減量化量（委託中間処理後）

「⑤-2 中間処理量（委託中間処理量）」と「⑦-2 処理残さ量（委託中間処理後）」との差分により推計した。

⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）

処理後再生利用量（自己中間処理後）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）

実績報告書の令和元年度の処理後再生利用量（委託中間処理後）については、「排出量」の平成30年度と令和元年度の増減率（D）を算出し、実態調査（平成30年度実績）の処理後再生利用量（委託中間処理後）にこの増減率（D）を乗じて令和元年度の処理後再生利用量（委託中間処理後）を推計した。

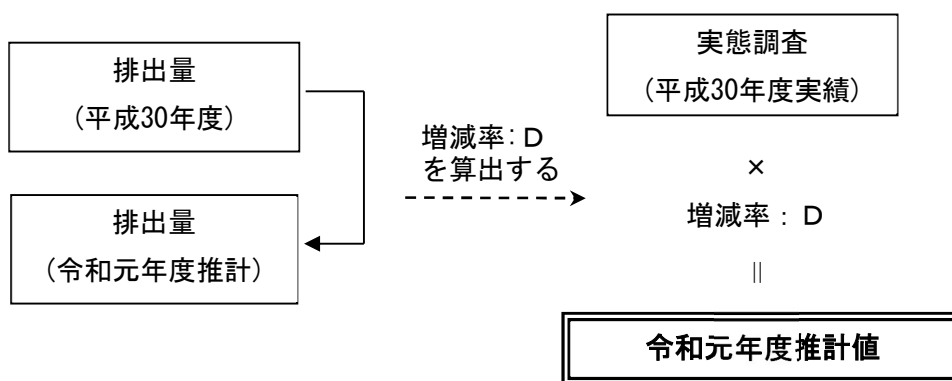


図2.1-6 処理後再生利用量（委託中間処理後）の推計方法

⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）

処理後最終処分量（自己中間処理後）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）

処理後最終処分量（委託中間処理後）は、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」と同様の方法で推計した。

⑪ 最終処分量

最終処分量は、「⑥ 直接最終処分量」、「⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）」、「⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）」の合計とした。

⑫ 再生利用量

再生利用量は、「④ 直接再生利用量」、「⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」の合計とした。

⑬ 再資源化量

再資源化量は、「② 有償物量」、「⑫ 再生利用量」の合計とした。

⑭ その他量

その他量は、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」と同様の方法で推計した。

また、本推計においては各項目について単独で推計を行っているため、一連の処理・処分状況において、不整合を生じる可能性がある。例えば、減量することができない鉄くず、がれき類などは中間処理前と中間処理後において推計値が異なる結果が生じる場合がある。その際には、一連の過程において不整合が生じないように適宜補正を行った。

2.2 推計結果

(1) 総発生量

令和元年度の種別・業種別の総発生量推計結果を表2.2-1に示す。

また、表2.2-2、図2.2-1に種別総発生量の経年変化、表2.2-3、図2.2-2に業種別総発生量の経年変化を示す。

令和元年度の総発生量は12,260千トンであり、廃棄物種別別にみると、汚泥が6,707千トンで最も多く、次いでがれき類が2,196千トン、動物のふん尿が691千トンとなっている。業種別にみると、電気・ガス・水道業が4,772千トンで最も多く、次いで建設業が3,424千トン、製造業が3,043千トンとなっている。

また、経年変化をみると、平成27年度以降減少傾向にあったが、令和元年度は増加に転じた。

表2.2-1 種別・業種別の総発生量（令和元年度推計値）

①総発生量	(千トン/年)																		
	H27年度 合計	H28年度 合計	H29年度 合計	H30年度 合計	R 1年度 合計	農 林 漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 ・ 小 売 業	物 品 買 賃 業	学 術 研 究 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	飲 食 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	医 療	サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)
H27年度 合計	-	-	-	-	12,311	676	357	3,121	2,817	5,145	2	25	69	2	11	19	10	35	22
H28年度 合計	-	-	-	-	12,106	639	354	2,811	2,883	5,219	1	24	61	4	10	31	7	46	18
H29年度 合計	-	-	-	-	11,797	626	382	2,933	2,648	5,002	0	30	58	2	11	19	9	50	28
H30年度 合計	-	-	-	-	11,320	702	2	2,909	2,793	4,671	0	22	97	14	8	28	9	38	27
R 1年度 合計	12,311	12,106	11,797	11,320	12,260	694	2	3,424	3,043	4,772	0	43	123	26	6	30	8	58	31
燃え殻	6	5	6	39	40	0	0	1	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	7,185	7,253	6,942	6,482	6,707	0	0	819	1,087	4,763	0	1	4	4	0	22	3	1	2
廃油	108	92	104	118	135	0	1	1	106	0	0	2	11	0	0	6	0	0	8
廃酸	27	25	28	38	47	0	0	0	45	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	47	46	46	52	40	0	0	1	35	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	366	332	336	387	452	2	0	59	290	0	0	15	49	6	3	2	5	10	11
紙くず	367	350	368	305	378	0	0	17	361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	235	212	247	226	270	0	0	211	50	0	0	6	1	2	0	0	0	0	0
繊維くず	4	5	6	4	5	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	94	94	110	159	188	0	0	0	188	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	2	2	2	2	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	529	523	440	403	510	1	0	58	390	0	0	13	32	5	1	0	0	3	7
ガラスくず・陶磁器くず	283	292	327	294	350	0	0	101	227	0	0	3	14	0	0	0	0	4	1
鉱さい	136	147	192	156	138	0	0	0	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	1,923	1,835	1,861	1,863	2,196	0	0	2,136	39	8	0	2	3	8	0	0	0	0	0
動物のふん尿	676	638	626	700	691	691	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	48	37	27	35	35	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（混合廃棄物）	275	219	130	54	72	0	0	17	8	0	0	0	4	0	0	0	0	38	3

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-2 種類別総発生量の経年変化

(単位：千トン/年)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
合 計	12,311	12,106	11,797	11,320	12,260
燃え殻	6	5	6	39	40
汚泥	7,185	7,253	6,942	6,482	6,707
廃油	108	92	104	118	135
廃酸	27	25	28	38	47
廃アルカリ	47	46	46	52	40
廃プラスチック類	366	332	336	387	452
紙くず	367	350	368	305	378
木くず	235	212	247	226	270
繊維くず	4	5	6	4	5
動植物性残さ	94	94	110	159	188
動物系固形不要物	0	0	0	1	2
ゴムくず	2	2	2	2	3
金属くず	529	523	440	403	510
ガラスくず・陶磁器くず	283	292	327	294	350
鋳さい	136	147	192	156	138
がれき類	1,923	1,835	1,861	1,863	2,196
動物のふん尿	676	638	626	700	691
動物の死体	0	0	0	0	0
ばいじん	48	37	27	35	35
政令第十三号廃棄物	0	0	0	0	0
その他（混合廃棄物）	275	219	130	54	72

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

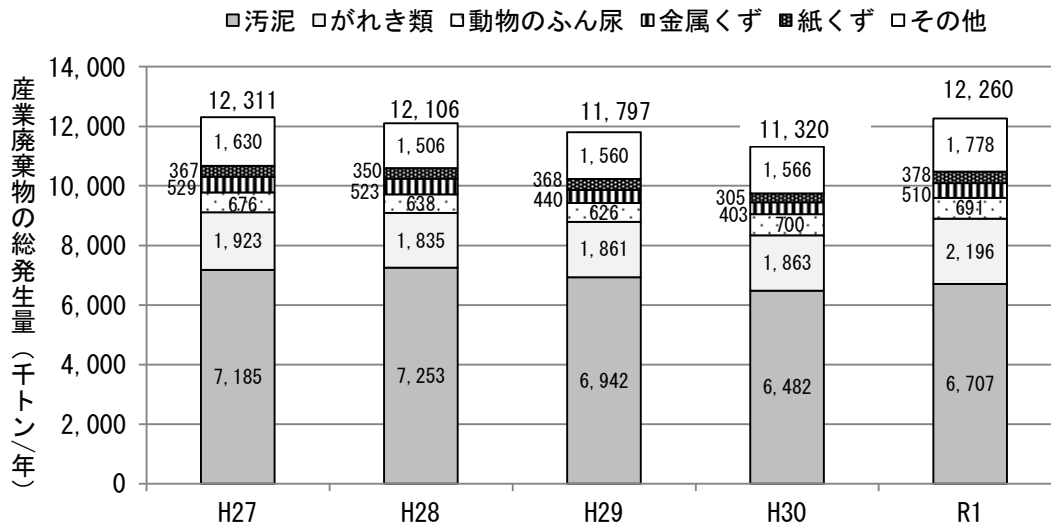


図2.2-1 種類別総発生量の経年変化

表2.2-3 業種別総発生量の経年変化

(単位：千トン/年)

年度	H27	H28	H29	H30	R1
合計	12,311	12,106	11,797	11,320	12,260
農林漁業	676	639	626	702	694
鉱業	357	354	382	2	2
建設業	3,121	2,811	2,933	2,909	3,424
製造業	2,817	2,883	2,648	2,793	3,043
電気・ガス・水道業	5,145	5,219	5,002	4,671	4,772
情報通信業	2	1	0	0	0
運輸業	25	24	30	22	43
卸・小売業	69	61	58	97	123
医療	35	46	50	38	58
サービス業等	64	69	69	85	102

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

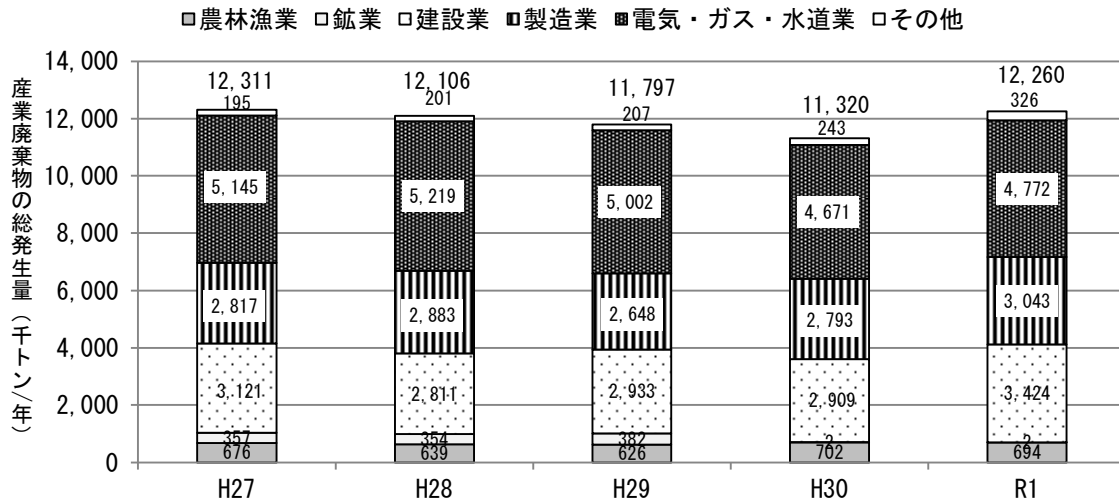


図2.2-2 業種別総発生量の経年変化

(2) 処理・処分状況

令和元年度の処理・処分状況の推計結果を表2.2-4、図2.2-3に示す。併せて、平成30年度推計結果を表2.2-5、図2.2-4に、業種別の処理処分状況の推計結果を表2.2-6(1)～(7)に示す。

令和元年度の総発生量は12,260千トンであり、処理量の内訳をみると、再資源化量5,487千トン(総発生量比45%)、最終処分量193千トン(総発生量比1.6%)、総減量化量6,579千トン(総発生量比54%)となっている。

また、経年変化(表2.2-7、図2.2-5参照)をみると、平成30年度と比較して総発生量、再資源化量、最終処分量いずれも増加傾向にあることがわかる。

表2.2-4 産業廃棄物の処理・処分状況（令和元年度推計値：全業種）

（単位：千トン/年）

全業種	総発生量				排出量 ③' ③-a	発生量 ①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生 利用量 ⑫	最終処 分量 ⑪	その他 保管量	総減量 化量 ⑧ a+⑧'
	①	②	③	うち脱水 減量 a								
	①	②	③	a								
合計	12,260	783	11,477	5,505	5,972	6,756	1,074	5,487	4,704	193	1	6,579
燃え殻	40	0	40		40	40		37	37	4		
汚泥	6,707	2	6,705	5,403	1,302	1,303	754	521	519	28	0	6,158
廃油	135	13	123		123	135	68	63	50	5	0	68
廃酸	47	2	45		45	47	20	22	19	5		20
廃アルカリ	40	1	40		40	40	34	4	4	2		34
プラスチック類	452	59	393		393	452	56	352	293	42	1	56
紙くず	378	301	77		77	378	17	359	58	1		17
木くず	270	14	256	1	255	269	7	256	242	6	0	8
繊維くず	5		5		5	5	0	5	5	0		0
動植物性残さ	188	52	136	17	119	171	79	92	40	0		96
動物系固形不要物	2		2		2	2		2	2			
ゴムくず	3	0	2		2	3		2	2	0	0	
金属くず	510	324	186	0	186	510	0	504	180	6	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	350	8	342	6	336	344	4	320	312	20	0	10
鉱さい	138	0	138		138	138		132	132	6		
がれき類	2,196	2	2,194		2,194	2,196	0	2,149	2,146	48	0	0
動物のふん尿	691		691	77	614	614		614	614			77
動物の死体												
ばいじん	35	0	34		34	35		35	34	0	0	
政令第十三号廃棄物												
その他（混合廃棄物）	72	5	67		67	72	34	20	15	18	0	34

※1 四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

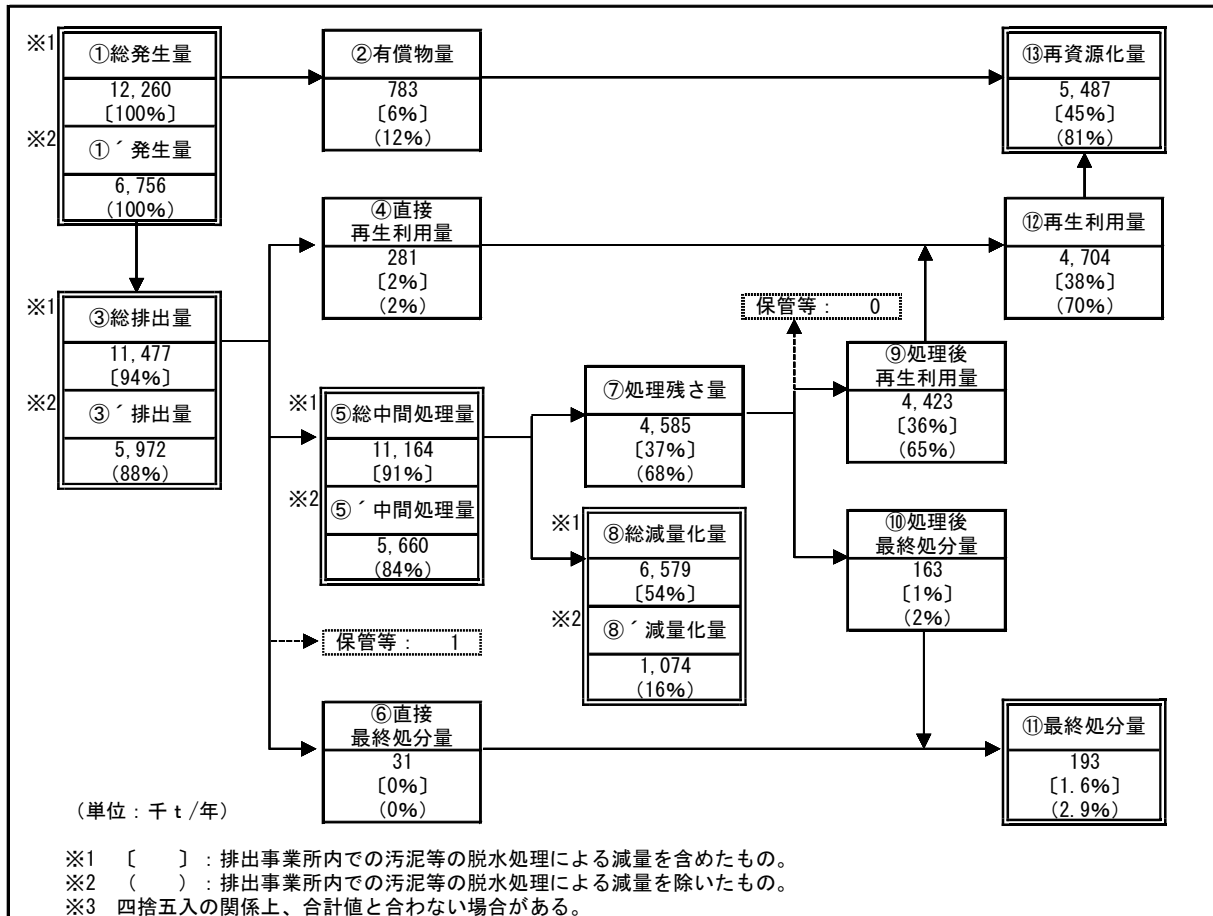


図2.2-3 産業廃棄物の処理・処分状況（令和元年度推計値：全業種）

表2.2-5 産業廃棄物の処理・処分状況（参考 平成30年度実態調査結果：全業種）

（単位：千トン/年）

全業種	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧
	①	有償物量 ②	総排出量			①' 発生量 ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他 保管量	
			③	うち脱水 減量 a				③'	③-a			
合計	11,320	625	10,695	5,456	5,239	5,864	944	4,760	4,135	159	1	6,400
燃え殻	39	0	39		39	39		37	36	3		
汚泥	6,482	1	6,481	5,358	1,123	1,124	646	453	452	25	0	6,004
廃油	118	10	108		108	118	59	55	45	4	0	59
廃酸	38	2	37		37	38	17	17	15	4		17
廃アルカリ	52	1	51		51	52	45	4	3	3		45
廃プラスチック類	387	48	340		340	387	65	288	241	33	1	65
紙くず	305	243	62		62	305	14	290	47	1		14
木くず	226	11	215	1	214	225	6	214	203	5	0	7
繊維くず	4		4		4	4	0	4	4	0		0
動植物性残さ	159	41	118	14	104	145	66	79	38	0		80
動物系固形不棄物	1		1		1	1		1	1			
ゴムくず	2	0	2		2	2		2	2	0	0	
金属くず	403	254	149	0	149	403	0	399	144	5	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	294	6	288	5	283	289	3	270	264	16	0	8
鉱さい	156	0	156		156	156		151	151	5		
がれき類	1,863	2	1,861		1,861	1,863	0	1,823	1,821	40	0	0
動物のふん尿	700		700	78	622	622		622	622			78
動物の死体												
ばいじん	35	0	34		34	35		34	34	0	0	
政令第十三号廃棄物												
その他（混合廃棄物）	54	4	50		50	54	23	16	12	15	0	23

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

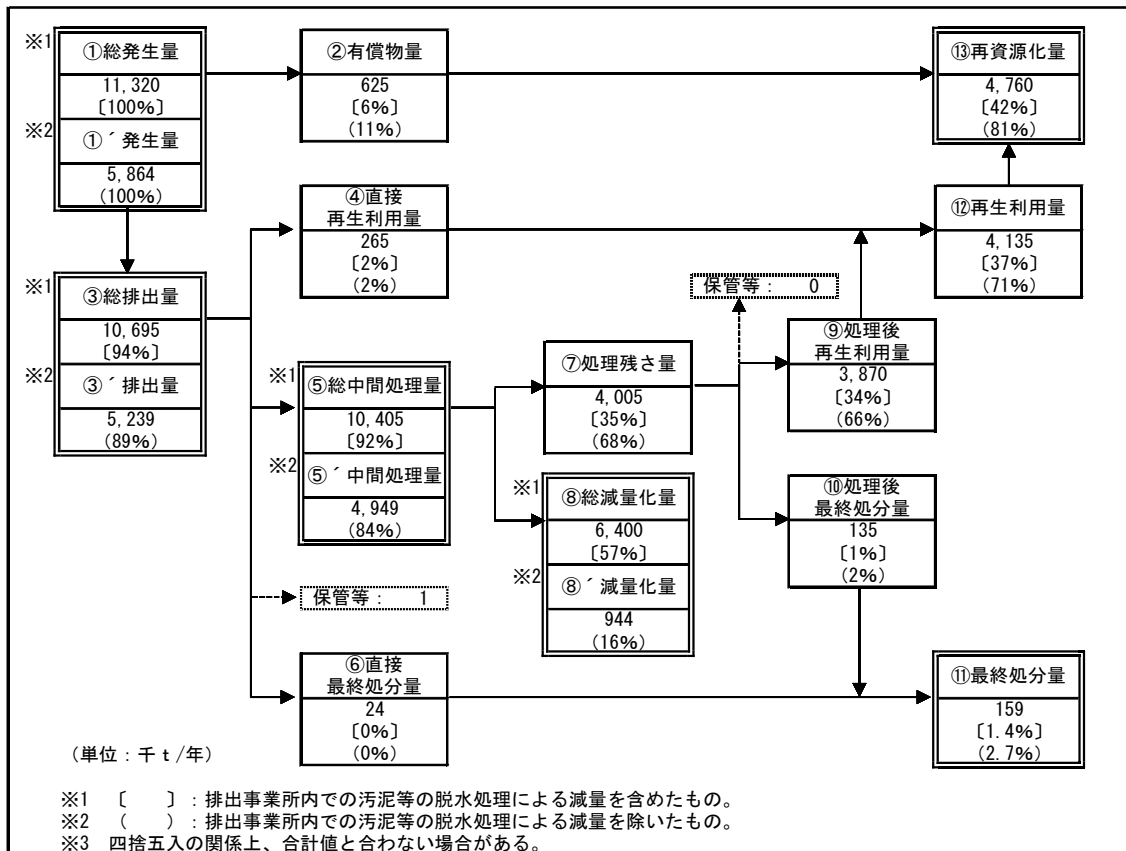


図2.2-4 産業廃棄物の処理・処分状況（参考：平成30年度実態調査結果：全業種）

表2.2-6 (1) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[A:農林漁業、C:鉱業]

(単位:千トン/年)

A:農林漁業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量			
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生利用量 ⑫		最終処分量 ⑪	その他保管量	⑧
合計	694	0	694	77	617	617	0	616	616	0	1	77		
燃え殻	0		0		0	0		0	0					
汚泥														
廃油	0		0		0	0	0			0		0		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	2		2		2	2	0	1	1	0	1	0		
紙くず														
木くず	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず	0		0		0	0				0				
金属くず	1	0	1		1	1		1	1					
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0	0			
鉱さい														
がれき類	0		0		0	0		0	0					
動物のふん尿	691		691	77	614	614		614	614			77		
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)														

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

C:鉱業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量			
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生利用量 ⑫		最終処分量 ⑪	その他保管量	⑧
合計	2	0	2		2	2	1	0	0	0	0	1		
燃え殻														
汚泥														
廃油	1		1		1	1	1	0	0		0	1		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
紙くず														
木くず	0		0		0	0		0	0	0				
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず	0		0		0	0		0	0					
金属くず	0	0	0		0	0		0	0					
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0				0				
鉱さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0				

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (2) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[D:建設業、E:製造業]

(単位:千トン/年)

D:建設業	総発生量				排出量 ③'	発生量 ①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生 利用量 ⑫	最終処 分量 ⑪	その他 保管量	総減量 化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③	うち脱水 減量 a								
合計	3,424	9	3,415		3,415	3,424	530	2,807	2,798	86	0	530
燃え殻	1		1		1	1				1		
汚泥	819		819		819	819	517	297	297	4		517
廃油	1		1		1	1	0	0	0	0		0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	1		1		1	1	1	0	0	0		1
廃プラスチック類	59	0	59		59	59	4	46	46	9		4
紙くず	17	0	17		17	17	1	14	14	1		1
木くず	211	5	207		207	211	5	203	199	3		5
繊維くず	4		4		4	4	0	3	3	0		0
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0	0		0	0			
金属くず	58	3	55		55	58	0	57	54	1	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	101		101		101	101		90	90	10		
鉱さい												
がれき類	2,136	1	2,134		2,134	2,136		2,091	2,090	44	0	
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	0		0		0	0				0		
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	17	0	17		17	17		4	4	13		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

E:製造業	総発生量				排出量 ③'	発生量 ①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生 利用量 ⑫	最終処 分量 ⑪	その他 保管量	総減量 化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③	うち脱水 減量 a								
合計	3,043	743	2,300	762	1,538	2,281	422	1,779	1,036	80	0	1,183
燃え殻	39	0	39		39	39		37	37	3		
汚泥	1,087	2	1,085	737	348	350	182	147	145	21	0	919
廃油	106	8	97		97	106	54	47	38	5	0	54
廃酸	45	2	42		42	45	18	21	19	5		18
廃アルカリ	35	1	34		34	35	29	4	3	2		29
廃プラスチック類	290	57	233		233	290	37	229	172	24	0	37
紙くず	361	301	60		60	361	16	345	44	0		16
木くず	50	9	40	1	39	48	2	44	35	3	0	3
繊維くず	1		1		1	1	0	1	1	0		0
動植物性残さ	188	52	136	17	119	171	79	92	40	0		96
動物系固形不要物	2		2		2	2		2	2			
ゴムくず	3	0	2		2	3		2	2	0	0	
金属くず	390	299	92	0	92	390		389	90	2	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	227	8	219	6	213	221	4	211	203	6	0	10
鉱さい	138	0	138		138	138		132	131	6		
がれき類	39	1	38		38	39	0	37	36	2		0
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	35	0	34		34	35		35	34	0	0	
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	8	2	6		6	8	1	7	4	1	0	1

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (3) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[F:電気・ガス・水道業、G:情報通信業]

(単位:千トン/年)

F:電気・ガス・水道業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量 ⑧ a+⑧'	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
			③	うち脱水減量 a				③-a	①'			
合計	4,772	0	4,772	4,666	106	106	29	76	76	1	0	4,695
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0		
汚泥	4,763		4,763	4,666	97	97	29	68	68	0	0	4,695
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0		0
紙くず												
木くず	0		0		0	0	0			0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	0	0	0		0	0		0	0	0		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0			
鉱さい												
がれき類	8		8		8	8		8	8	0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0		0	0	0	0	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

G:情報通信業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量 ⑧ a+⑧'	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
			③	うち脱水減量 a				③-a	①'			
合計	0		0		0	0		0	0			
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	0		0		0	0		0	0			
紙くず	0		0		0	0		0	0			
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	0		0		0	0		0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0			
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0			

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (4) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[H:運輸業、I:卸・小売業]

(単位:千トン/年)

H:運輸業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物量 ②	総排出量			①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他 保管量	
			③	うち脱水 減量 a				③- a	⑬			
合計	43	5	38	0	38	43	4	35	30	4	0	4
燃え殻	0		0		0	0		0	0			
汚泥	1		1	0	1	1	1	0	0	0		1
廃油	2	0	2		2	2	1	1	1	0		1
廃酸	0		0		0	0	0		0	0		0
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	15	1	14		14	15	2	11	10	2		2
紙くず												
木くず	6		6		6	6	0	6	6	1		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	13	4	9		9	13		12	8	1	0	
ガラスくず・陶磁器くず	3		3		3	3		3	3	0		
鉱さい												
がれき類	2		2		2	2		2	2	0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

I:卸・小売業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物量 ②	総排出量			①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他 保管量	
			③	うち脱水 減量 a				③- a	⑬			
合計	123	22	101		101	123	13	99	78	11	0	13
燃え殻												
汚泥	4		4		4	4	3	1	1	0		3
廃油	11	3	8		8	11	4	8	4	0	0	4
廃酸	2		2		2	2	2		0	0		2
廃アルカリ	3		3		3	3	3	0	0	0		3
廃プラスチック類	49	1	49		49	49	2	43	42	5	0	2
紙くず												
木くず	1		1		1	1	0	1	1	0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0	0		0	0			
金属くず	32	16	16		16	32		30	14	2	0	
ガラスくず・陶磁器くず	14	0	13		13	14		11	11	2	0	
鉱さい	0		0		0	0		0	0			
がれき類	3		3		3	3		2	2	1		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	4	2	2		2	4	0	3	2	0	0	0

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (5) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[K:物品賃貸業、L:学術研究、技術サービス業]

(単位:千トン/年)

K:物品賃貸業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'	
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③	うち脱水 減量 a		③' ③-a	①' ②+③'	減量化 量 ⑧'	再資源化量		最終処 分量 ⑪		その他 保管量
									⑬	⑫ うち再生 利用量			
合計	26	1	25		25	26	4	21	20	1		4	
燃え殻													
汚泥	4		4		4	4	3	1	1	0		3	
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0	
廃酸													
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0			0	
廃プラスチック類	6		6		6	6	1	4	4	1		1	
紙くず													
木くず	2		2		2	2	0	2	2	0		0	
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず	0		0		0	0		0	0				
金属くず	5	1	5		5	5		5	5	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0	0	0		0	0		0	0				
鉱さい													
がれき類	8		8		8	8		8	8	0			
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0		0	0				

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

L:学術研究、技 術サービス業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'	
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③	うち脱水 減量 a		③' ③-a	①' ②+③'	減量化 量 ⑧'	再資源化量		最終処 分量 ⑪		その他 保管量
									⑬	⑫ うち再生 利用量			
合計	6	0	6		6	6	1	4	4	1	0	1	
燃え殻	0		0		0	0				0			
汚泥	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0	
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃プラスチック類	3	0	3		3	3	0	2	2	0		0	
紙くず													
木くず	0		0		0	0		0	0	0			
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	1	0	1		1	1		1	1	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0	0	0		0	0		0	0	0			
鉱さい													
がれき類	0		0		0	0		0	0	0			
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (6) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[M: 飲食業、N: 生活関連サービス業]

(単位: 千トン/年)

M: 飲食業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量			最終処分量 ⑪	その他保管量
			③	うち脱水減量 a					③-a	②+③'			
合計	30	0	30		30	30	19	10	10	1		⑧ a+⑧'	19
燃え殻													
汚泥	22		22		22	22	17	4	4	1			17
廃油	6	0	6		6	6	0	5	5	0			0
廃酸													
廃アルカリ													
廃プラスチック類	2		2		2	2	1	0	0	1			1
紙くず													
木くず													
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	0		0		0	0		0	0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0				
鉱さい													
がれき類													
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0			

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位: 千トン/年)

N: 生活関連サービス業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量			最終処分量 ⑪	その他保管量
			③	うち脱水減量 a					③-a	②+③'			
合計	8	0	7		7	8	2	5	5	0		⑧ a+⑧'	2
燃え殻	0		0		0	0		0	0				
汚泥	3		3		3	3	1	2	2	0			1
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0			0
廃酸													
廃アルカリ													
廃プラスチック類	5	0	5		5	5	1	3	3	0			1
紙くず													
木くず	0		0		0	0	0	0	0				0
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	0		0		0	0		0	0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0				
鉱さい													
がれき類													
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0			0

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (7) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和元年度推計値)

[P:医療、R:サービス業 (他に分類されないもの)]

(単位:千トン/年)

P:医療	総発生量				排出量	発生量					総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		③' ③-a	①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量			最終処分量 ⑪	その他保管量
									⑬	うち再生利用量 ⑫			
合計	58	0	58		58	58	42	11	11	5	0	42	
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0			
汚泥	1		1		1	1	1	0	0	0		1	
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃プラスチック類	10	0	10		10	10	8	2	2	1		8	
紙くず													
木くず	0		0		0	0		0	0				
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず	0		0		0	0		0	0	0			
金属くず	3	0	3		3	3		3	3	0			
ガラスくず・陶磁器くず	4	0	4		4	4		4	4	0			
鉱さい													
がれき類	0		0		0	0				0			
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	38	0	38		38	38	33	2	2	3	0	33	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

R:サービス業 (他に分類されないもの)	総発生量				排出量	発生量					総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		③' ③-a	①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量			最終処分量 ⑪	その他保管量
									⑬	うち再生利用量 ⑫			
合計	31	3	29	0	29	31	8	22	19	2	0	8	
燃え殻													
汚泥	2		2	0	2	2	1	0	0	0	0	1	
廃油	8	1	7		7	8	6	2	1	0		6	
廃酸													
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃プラスチック類	11	0	11		11	11	0	10	10	1		0	
紙くず													
木くず	0		0		0	0		0	0	0			
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物	0		0		0	0		0	0				
ゴムくず													
金属くず	7	1	5		5	7		7	5	0			
ガラスくず・陶磁器くず	1		1		1	1		0	0	1	0		
鉱さい													
がれき類													
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	3	1	2		2	3		3	2	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-7 産業廃棄物の処理・処分状況の経年変化

(単位：千トン/年)

年度	H27	H28	H29	H30	R1
①総発生量	12,311	12,106	11,797	11,320	12,260
②総排出量	11,628	11,441	11,197	10,695	11,477
③再資源化量	5,001	4,968	4,872	4,760	5,487
④減量化量	7,112	6,946	6,748	6,400	6,579
⑤最終処分量	188	182	168	159	193
(最終処分率)	1.6	1.6	1.5	1.5	1.7
⑥その他量	9	9	9	1	1

※最終処分率は、⑤÷②とした。(P16の最終処分率は、⑤÷①である。)

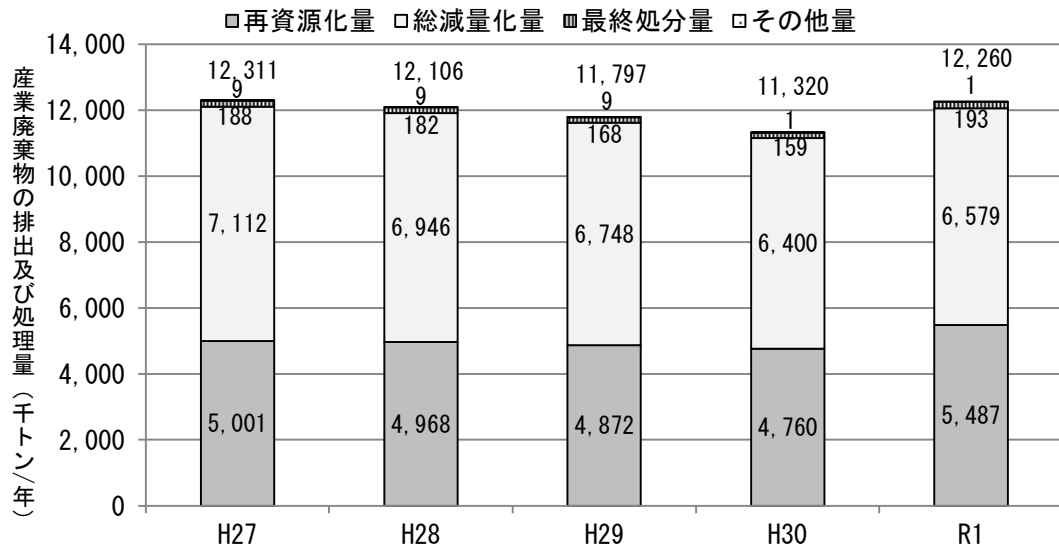


図2.2-5 産業廃棄物の処理・処分状況の経年変化

第3章 行政報告の入力、整理

3.1 産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力、整理

(1) 電子化した項目

電子化した情報は、報告者名称（許可番号も含む）、委託者名、委託者事業種分類、委託者地域コード、種類、受託量、処分量、処分後量、処分方法、処分地域コード、処分後の委託内容等とした。

なお、電子化に当たっては、(2)に記す解析内容を行えるように考慮した。

表3.1-1 電子化した項目

報告書の内容	電子化する項目	数 量
①様式19号(2) 〔産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書〕	①報告者名称（許可番号も含む）②委託者名（特別管理産業廃棄物に限る）③委託者事業種分類 ④委託者地域コード ⑤種類 ⑥受託量 ⑦処分量 ⑧処分後量 ⑨処分方法 ⑩処分地域コード ⑪処分後の委託内容 等	入力件数：約200件 データ数：約605,713レコード (電子データ含む)
②様式2号の9 ③様式2号の14 ④様式4号 ⑤様式4号の2 〔産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処理計画実施状況報告書〕	①報告者名称 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④事業の種類 ⑤発生量の目標 ⑥計画の実施状況（発生量、自己直接再生利用量等）等	(合計) 入力件数：約379件 データ数：約2,375レコード

※1 ①様式19号(2)の⑤種類について、報告書の記入欄にカッコ書きで「含石綿」と記入されたものは、石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）であり、これを分かるように区別して入力した。

(2) 解析項目

電子化したデータについては、以下の項目に従って解析を実施した。

表3.1-2 解析項目

解 析 内 容	解析情報
①県内産業廃棄物処理施設での品目別、処理方法別処理量	様式19号(2)により整理
②産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量	〃
※石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）を区別	
③特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量	〃
④産業廃棄物の県内処分業者の品目別中間処分量	〃
⑤産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	〃
⑥特別管理産業廃棄物の県内処分業者の品目別中間処分量	〃
⑦特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	〃
⑧多量排出事業者の発生量及び処理状況	様式第2号の9、様式第2号の14、様式4号及び様式第4号の2により整理

※1 石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）の運搬量は処理実績報告書から把握した。

※2 報告者数は、名称から組合せを行い整理した。

※3 廃棄物等量のうち、数量が容積等の場合は、品目別重量換算係数を用いて単位をt（トン）に統一した。

(3) 整理結果

① 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書（以下、「実績報告書」とする。）

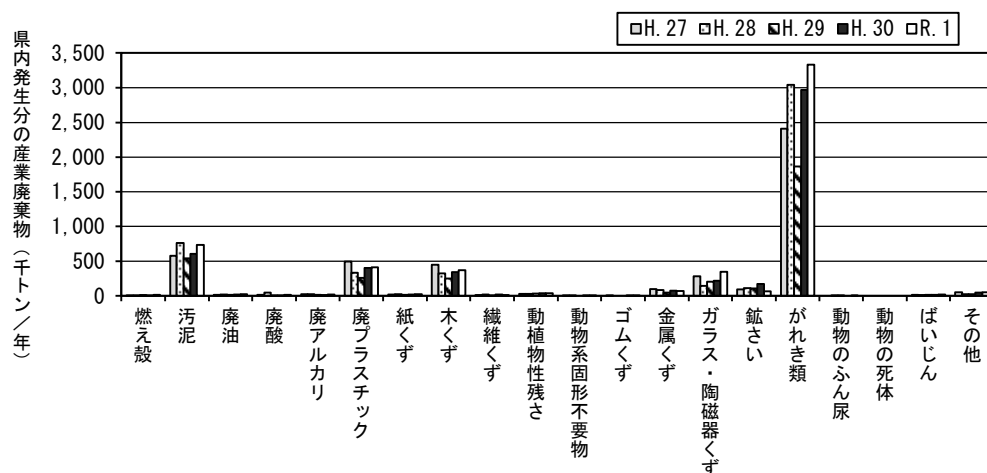
実績報告書（さいたま市、川越市、川口市、越谷市含む）から整理した埼玉県内排出量（令和元年度実績）を整理した結果は、表3.1-3、図3.1-1に示すとおりである。併せて、過年度からの経年変化を示している。また、各種行政報告では、廃棄物の数量をトン又はm³で記入することになっている。m³で記入された数量を表3.1-4に示す換算係数を用いて重量（トン）に換算した。

埼玉県内排出量（令和元年度実績）は、平成30年度と比較し約12%増加している。

表3.1-3 実績報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

(単位：トン/年)

実績年度	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1
合計	4,572,362	4,985,815	3,395,424	4,941,084	5,530,805
燃え殻	5,225	3,084	7,603	3,865	14,100
汚泥	577,965	762,899	540,690	605,094	732,704
廃油	14,024	18,711	11,490	17,229	20,047
廃酸	12,895	44,482	3,169	1,807	13,470
廃アルカリ	20,266	20,850	15,053	7,495	16,645
廃プラスチック類	497,531	334,308	258,483	402,098	409,604
紙くず	17,308	22,134	13,373	17,252	24,059
木くず	448,257	324,696	248,632	342,603	371,227
繊維くず	7,231	17,517	6,329	16,211	7,993
動植物性残さ	29,007	28,095	32,593	38,677	38,841
動物系固形不要物	1,030	30	0	1,841	1,062
ゴムくず	524	0	0	198	1,760
金属くず	96,937	84,017	44,514	75,778	71,055
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	281,535	143,007	206,197	215,993	343,707
鉱さい	89,254	109,737	107,705	168,577	64,399
がれき類	2,409,752	3,038,938	1,864,537	2,967,991	3,333,185
動物のふん尿	0	320	2	0	13
動物の死体	1	0	1	1	1
ばいじん	13,606	10,426	13,286	11,996	16,480
その他（混合廃棄物など）	50,012	22,565	21,766	46,378	50,450



注) 全年度、埼玉県、さいたま市、川越市、川口市、越谷市のデータとなっている。

図3.1-1 実績報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

表3. 1-4 品目別重量換算係数

Code	廃棄物種類	換算係数 (トン/m ³)	Code	廃棄物種類	換算係数 (トン/m ³)	
1	燃え殻	1.14	B1	廃油	0.90	
2	汚泥	1.10	B2	廃酸	1.25	
3	廃油	0.90	B3	廃アルカリ	1.13	
4	廃酸	1.25	B4	感染性廃棄物	0.30	
5	廃アルカリ	1.13	特別管理産業廃棄物 特定有害産業廃棄物	C1	廃PCB等	1.00
6	廃プラスチック類	0.35		C2	廃PCB汚染物	1.00
7	紙くず	0.30		C3	廃PCB処理物	1.00
8	木くず	0.55		C4	指定下水汚泥等	1.10
9	繊維くず	0.12		D2	鉱さい	1.93
10	動植物性残さ	1.00		D3	廃石綿等	0.30
11	動物系固形不要物	1.00		D4	ばいじん	1.26
12	ゴムくず	0.52		D5	燃え殻	1.14
13	金属くず	1.13		D6	廃油	0.90
14	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1.00		D7	汚泥	1.10
15	鉱さい	1.93	D8	廃酸	1.25	
16	がれき類	1.48	D9	廃アルカリ	1.13	
17	動物のふん尿	1.00	D10	廃水銀等	13.57	
18	動物の死体	1.00				
19	ばいじん	1.26				
20	政令第十三号廃棄物	1.00				

※廃棄物量のうち、数量が容積の場合は品目別重量換算係数を用い、単位をトンに統一した。

② 産業廃棄物処理計画実施状況報告書（以下、「多量排出報告書」とする。）

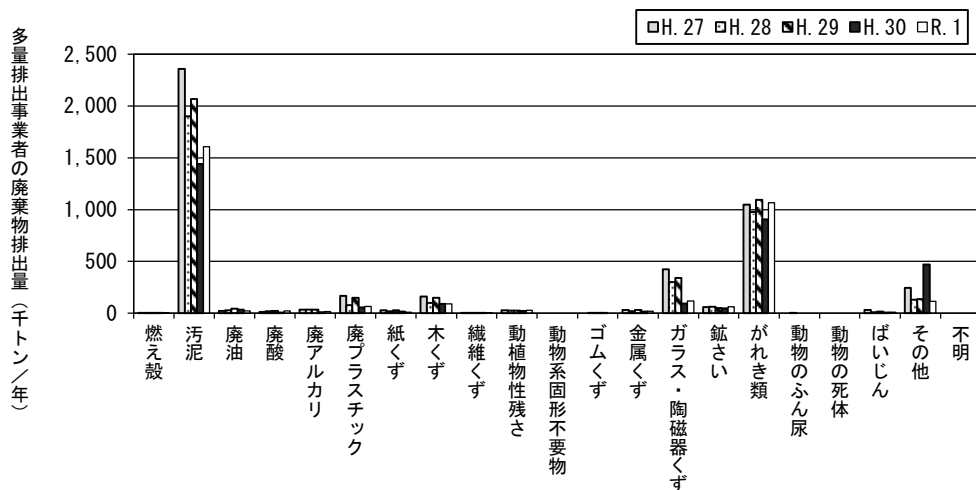
多量排出報告書から整理した排出量（令和元年度実績）の結果は、表3.1-5、図3.1-2に示すとおりである。併せて、過年度からの経年変化を示している。

埼玉県内（越谷市を除く）排出量（令和元年度実績）は、平成30年度と比較し約1%増加している。

表3.1-5 多量排出報告書から整理した排出量（実績）

（単位：トン/年）

実績年度	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1
合計	4,647,829	3,702,166	4,176,360	3,204,476	3,246,187
燃え殻	2,942	2,660	2,603	167	321
汚泥	2,356,697	1,900,158	2,068,017	1,438,773	1,606,792
廃油	22,301	27,264	42,421	34,095	20,275
廃酸	13,315	19,884	21,487	4,725	20,994
廃アルカリ	35,412	35,872	34,634	8,822	17,023
廃プラスチック類	166,618	77,550	150,615	54,408	65,987
紙くず	26,843	18,202	25,554	16,411	10,130
木くず	159,487	98,670	148,172	88,519	89,851
繊維くず	755	1,007	1,157	1,152	1,369
動植物性残さ	25,681	23,116	23,938	21,117	25,989
動物系固形不要物					
ゴムくず		7	1	2	1
金属くず	30,644	19,696	28,773	15,735	17,803
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	423,807	299,070	338,794	93,145	115,691
鉱さい	58,362	63,390	47,939	47,056	61,594
がれき類	1,048,169	977,509	1,091,160	904,855	1,065,854
動物のふん尿		9			
動物の死体					
ばいじん	31,028	8,275	15,646	6,007	11,673
その他（混合廃棄物など）	245,767	129,827	135,450	469,486	114,841
不明					



注) 平成27～28年度は越谷市を除くデータ、平成29年度は川口市、越谷市を除くデータ、平成30年度川口市、越谷市、川越市の除くデータ、令和元年度は越谷市を除くデータとなっている。

図3.1-2 多量排出報告書から整理した排出量（実績）

3.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書データの入力、整理

(1) 電子化する項目

電子化する情報は、産業廃棄物管理票交付等状況報告書（様式第3号、以下「マニフェスト報告書」とする。）に基づき、報告者（住所、氏名）、業種、事業場の所在地（市町村）、廃棄物の種類、排出量（トン）、管理票の交付枚数等とした。

表3.2-1 電子化する項目

電子化する項目	数 量
①報告者（住所、氏名） ②業種 ③事業場の所在地（市町村） ④廃棄物の種類 ⑤排出量（t） ⑥管理票の交付枚数 ⑦運搬受託者の許可番号 ⑧運搬受託者の氏名又は名称 ⑨運搬先の住所（都道府県市町村） ⑩処分受託者の許可番号 ⑪処分受託者の氏名又は名称 ⑫処分場所の住所（都道府県市町村） ⑬環境管理事務所	様式第3号 入力件数：約11,100件 データ数：約43,466レコード （電子マニフェスト： 約1,002,685レコード）

※1 電子マニフェスト登録状況報告のデータもあわせて整理した。

(2) 一覧表の作成

電子化したデータについては、以下の項目に従って解析を実施した。

表3.2-2 解析内容

解 析 内 容	解析情報
①産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	産業廃棄物管理票交付等状況報告書（様式第3号）
②産業廃棄物の種類別・業種別の交付枚数、排出状況	
③産業廃棄物の地域間移動状況	

(3) 整理結果

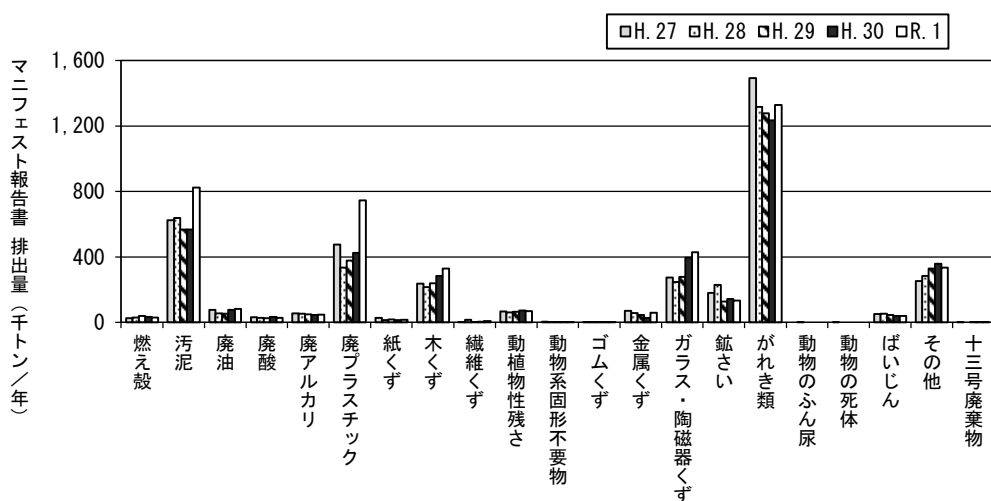
マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（令和元年度実績）の結果は、表3.2-3、図3.2-1に示すとおりである。（詳細は、別冊「令和2年度 埼玉県産業廃棄物管理票交付等状況報告書 業務報告書」に示す。）併せて、過年度からの経年変化を示している。

埼玉県内（さいたま市、川越市、川口市、越谷市を除く）排出量（令和元年度実績）は、平成30年度と比較し約20%増加している。

表3.2-3 マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

（単位：トン/年）

実績年度	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1
合計	3,962,224	3,648,520	3,559,315	3,769,832	4,516,002
燃え殻	26,386	30,445	40,574	34,227	29,912
汚泥	624,498	638,825	568,324	567,217	824,764
廃油	77,142	56,005	55,391	76,939	83,805
廃酸	31,733	27,837	27,276	33,529	28,144
廃アルカリ	56,210	55,557	49,298	46,057	47,653
廃プラスチック類	477,543	336,943	377,550	424,245	745,422
紙くず	27,982	15,449	19,811	15,389	16,637
木くず	237,001	216,807	240,022	285,826	328,385
繊維くず	3,795	16,002	4,992	6,065	9,525
動植物性残さ	68,833	62,416	67,408	73,594	70,823
動物系固形不要物	6,107	1,113	1,156	1,516	1,417
ゴムくず	8	11	42	31	67
金属くず	71,224	57,710	45,881	28,357	60,000
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	274,607	247,321	278,089	396,753	429,579
鉱さい	181,148	230,647	130,249	145,850	133,775
がれき類	1,491,424	1,315,413	1,277,356	1,234,595	1,328,040
動物のふん尿		1			
動物の死体	1			0	
ばいじん	52,896	54,250	46,461	41,153	41,387
その他（混合廃棄物など）	253,643	285,766	329,403	358,408	335,881
政令第十三号廃棄物	45		33	81	784



注) 平成27～28年度からはさいたま市、川越市、越谷市を除くデータ、平成29～令和元年度はさいたま市、川越市、川口市、越谷市を除くデータとなっている。

図3.2-1 マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

資 料 編

留意点

資料編においては、県へ報告された実績報告書の内容について整理したものであり、さいたま市及び川越市、川口市、越谷市は県外として取り扱っている。

1. 県内産業廃棄物処理施設での品目別及び処理方法別の処分量

(1) 県内産業廃棄物処理施設での品目別処分量

県内における産業廃棄物処理実績（令和元年度実績）を整理すると図-1、表-1のとおりである。

年間処分量は7,297千トンであり、品目別ではがれき類が3,029千トンで最も多く、次いで汚泥が2,363千トンとなっている。

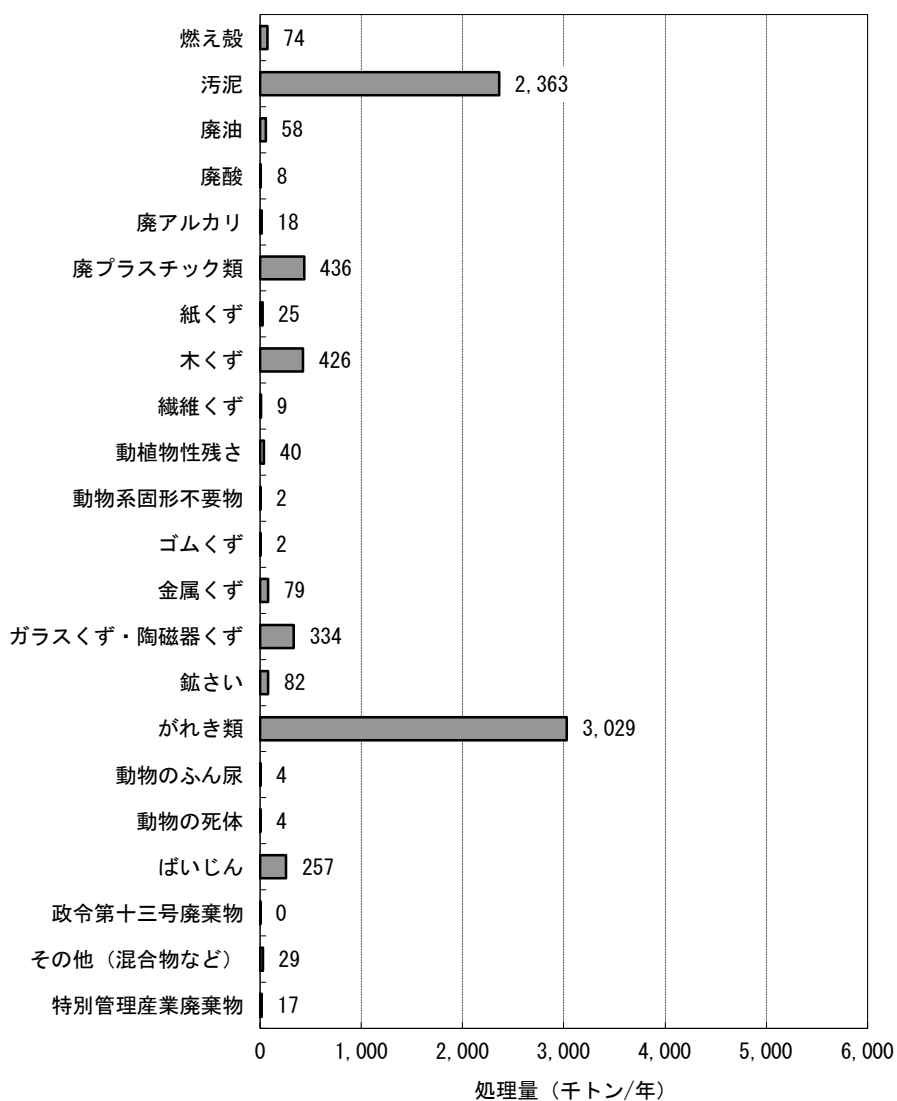


図-1 県内産業廃棄物処理施設での品目別処理量

表-1 県内産業廃棄物処理施設での品目別処理量

(単位：トン/年)

種類	区分	処理量		
		中間処理	最終処分	
産業廃棄物	燃え殻	74,120	72,120	2,000
	汚泥	2,363,381	2,363,381	
	廃油	57,735	57,735	
	廃酸	8,249	8,249	
	廃アルカリ	17,667	17,667	
	廃プラスチック類	435,889	426,952	8,938
	紙くず	25,335	25,335	
	木くず	425,613	425,613	
	繊維くず	9,191	9,191	
	動植物性残さ	40,116	40,116	
	動物系固形不要物	2,161	2,161	
	ゴムくず	2,402	2,402	
	金属くず	79,168	79,168	
	ガラス・陶磁器くず	334,009	333,809	200
	鋳さい	81,508	81,508	
	がれき類	3,029,148	3,029,148	
	動物のふん尿	4,207	4,207	
	動物の死体	3,725	3,725	
	ばいじん	257,145	257,145	
	政令第十三号廃棄物	140	140	
その他（混合物など）	28,712	28,712		
	小計	7,279,622	7,268,485	11,138
特別管理産業廃棄物	廃油	5,176	5,176	
	廃酸	552	552	
	廃アルカリ	407	407	
	感染性廃棄物	10,743	10,743	
	特定有害産業廃棄物			
	廃PCB等			
	廃PCB汚染物			
	廃PCB処理物			
	指定下水汚泥等			
	鋳さい			
	廃石綿等			
	ばいじん	284	284	
	燃え殻			
	廃油	48	48	
	汚泥	20	20	
廃酸				
廃アルカリ				
廃水銀等				
その他				
	小計	17,231	17,231	
	合計	7,296,853	7,285,715	11,138

(2) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処分量

県内における産業廃棄物処理実績（令和元年度実績）を品目別・処理方法別に整理すると図-2、表-2(1)～(4)の通りである。

① 中間処理量

県内における中間処理量7,285千トンを処理方法別に整理すると図-2のとおりであり、破碎系（選別、圧縮、梱包等を含む）が最も多く、次いで固形化、焼成、脱水系となっている。

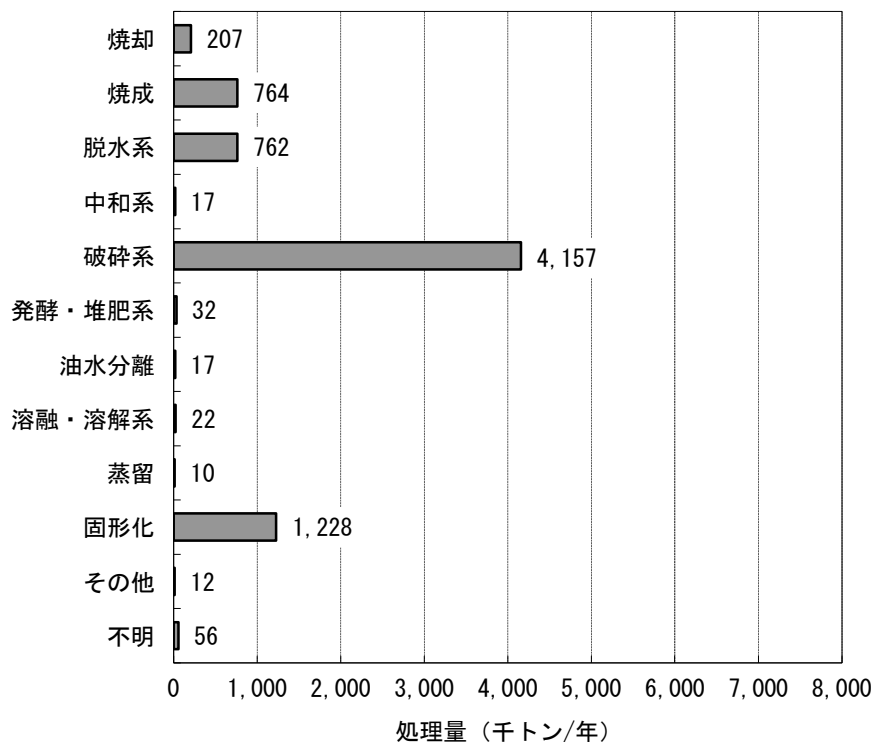


図-2 処理方法別中間処理量

② 最終処分量

県内における最終処分量は11千トンとなっており、その約80%が廃プラスチック類である。

表-2 (1) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法 廃棄物種類	合計	01：焼却				02：焼成		03：脱水系					小計
		焼却	焼却・溶融	蒸留・焼却	脱水・焼却	焼成	小計	乾燥	凝集沈殿・脱水	高度脱水	脱水	脱水固化	
燃え殻	74,120	0	0	0	0	763,827	763,827	22,219	90,815	106,420	539,928	3,028	762,411
汚泥	2,363,381	13,775	13,838	0	0	71,357	71,357	0	0	0	0	0	0
廃油	57,735	1,943	837	0	0	305,548	305,548	15,051	90,745	106,420	539,752	3,028	754,996
廃酸	8,249	4,272	39	0	0	0	0	0	71	0	97	0	168
廃アルカリ	17,667	3,932	757	0	0	4,310	4,310	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	435,889	82,169	50,394	0	0	4,689	4,689	0	0	0	0	0	0
紙くず	25,335	3,641	34	0	0	132,562	132,562	0	0	0	0	0	0
木くず	425,613	4,517	7	0	0	3,674	3,674	0	0	0	0	0	0
繊維くず	9,191	700	0	0	0	4,525	4,525	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	40,116	7,862	5,004	0	0	700	700	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	2,161	0	0	0	0	12,865	12,865	0	0	0	79	0	7,247
二ムくず	2,402	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	79,168	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	334,009	7	1,358	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
珪さい	81,508	0	0	0	0	43,135	43,135	0	0	0	0	0	0
がれき類	3,029,148	0	0	0	0	80,442	80,442	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	4,207	0	0	0	0	5,888	5,888	0	0	0	0	0	0
動物の死体	3,725	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	257,145	0	0	0	0	257,094	257,094	0	0	0	0	0	0
政令第十三号廃棄物	140	0	0	0	0	79	79	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	28,712	0	347	0	0	347	347	0	0	0	0	0	0
廃油	5,176	414	0	0	0	414	414	0	0	0	0	0	0
強酸	552	23	0	0	0	23	23	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	407	8	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	10,743	10,743	0	0	0	10,743	10,743	0	0	0	0	0	0
廃PGB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PGB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PGB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
珪さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	284	0	0	0	0	284	284	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	48	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
糞	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (2) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

処理方法 廃棄物種類	04 : 中和系			05 : 破砕系							選別					
	中和	中和・高温酸化	中和・脱水	小計	圧縮	圧縮・減容	圧縮・梱包	圧縮・梱包・溶融・破	減容	梱包		切断	切断・圧縮	切断・破砕		
	17,388	0	0												17,388	37,134
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	13	0	0	13	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	3,831	0	0	3,831	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	12,614	0	0	12,614	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	0	0	24,723	50	29,617	9,428	1,201	604	2,271	200	33	1	1	1
紙くず	0	0	0	0	674	0	7,595	0	0	0	2	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	392	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	131	0	288	0	0	0	71	0	0	0	0	0
産業動物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃動物系固形不燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	755	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	1	0	0	1	10,635	0	2,202	0	0	0	4,040	4,702	3,724	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	101	0	1	0	0	0	8	108	3	0	0	0
銻さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強酸	529	0	0	529	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	399	0	0	399	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃POB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃POB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃POB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定指下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位：トン/年)

表-2 (3) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法 廃棄物種類	05：破砕系										06：発酵・堆肥系		07：油水分離	
	破砕	破砕・圧縮	破砕・圧縮・梱包	破砕・減容	破砕・縮減・梱包・圧縮	破砕・混合	破砕・再生	破砕・選別	破砕・造粒・成型	小計	発酵	小計	油水分離	小計
合計	3,938,371	27,901	49,888	30,784	0	4,276	875	354	441	4,156,660	32,194	32,194	17,462	17,462
燃え殻	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
汚泥	23,919	0	0	0	0	0	0	0	0	23,919	13,424	13,424	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	0	0	17,338	17,338
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	0	0
廃アルカリ	18	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	1	1
廃プラスチック類	136,771	15,519	37,317	26,902	0	0	0	147	0	284,785	86	86	0	0
紙くず	7,684	0	5,012	678	0	0	0	0	0	21,646	0	0	0	0
木くず	413,536	4	4,621	1,396	0	0	875	3	0	420,834	0	0	0	0
繊維くず	2,507	0	37	1,175	0	4,276	0	0	0	8,485	0	0	0	0
産業動植物性残さ	1,196	0	0	0	0	0	0	0	0	1,196	18,569	18,569	0	0
廃動物系固形不要物	2,161	0	0	0	0	0	0	0	0	2,161	0	0	0	0
雑物	1,149	0	0	0	0	0	0	0	0	1,906	0	0	0	0
ゴムくず	45,462	5,223	2,764	9	0	0	0	204	0	78,965	0	0	10	10
金属くず	282,193	5,954	94	1	0	0	0	0	0	288,463	0	0	0	0
珪藻土	953	0	0	0	0	0	0	0	0	953	0	0	0	0
がれき類	2,986,028	1,201	42	0	0	0	0	0	441	2,987,736	0	0	0	0
動物のふん尿	4,200	0	0	0	0	0	0	0	0	4,200	7	7	0	0
動物の死体	3,725	0	0	0	0	0	0	0	0	3,725	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第十三号廃棄物 その他(混合物等)	26,868	0	0	623	0	0	0	0	0	27,491	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	114
強酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (4) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法 廃棄物種類	08：溶融・溶解系				09：蒸留		10：固形化				11：その他		
	加熱	熱分解	溶融	溶融減容	小計	蒸留	小計	コンクリート固	セメント固	混練固	造粒固	ろ過	加水（混練）
合計	7,223	6,253	385	8,448	22,309	10,412	10,412	11,324	19,722	1,981	1,195,023	3	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	12	751	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	11,128	18,971	5	1,195,128	0	0
廃油	6,984	0	0	0	6,984	5,718	5,718	0	0	1,972	0	3	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	246	8,448	8,694	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業動植物性残さ	239	0	0	0	239	0	0	0	0	0	0	0	0
廃動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃薬物	0	0	139	0	139	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
珪藻土	0	0	0	0	0	0	0	113	0	0	0	0	0
がれき類	0	6,253	0	0	6,253	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0
政令第十三号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	4,648	4,648	0	0	0	0	0	0
強酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有価物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石膏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石膏等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	47	47	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (5) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法	11：その他							15：中間処理不明	21：埋立	30：売却	
	混合	再生	煮沸	水銀加熱	調質改良	濃縮	分解・精製				小計
廃棄物種類	205	29	0	427	0	426	10,635	11,726	55,509	11,138	1,144
合計	205	29	0	427	0	426	10,635	11,726	55,509	11,138	1,144
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	12,753	0	0
廃油	204	24	0	0	0	65	10,635	10,930	11,717	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	341	0	341	0	0	0
廃プラスチック類	0	5	0	0	0	0	0	5	378	8,938	441
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	255	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	495
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	427	0	0	0	427	32	209	208
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	29,272	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	873	0	0
特別管理産業廃棄物	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量

(県内処分量、県外運搬量)

県内の特別管理産業廃棄物の処分実績及び産業廃棄物管理票交付等状況報告書から算出した年間排出量を整理すると図-3、表-3のとおりである。

マニフェスト報告書から算出した排出量は80千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、次いで引火性廃油となっている。

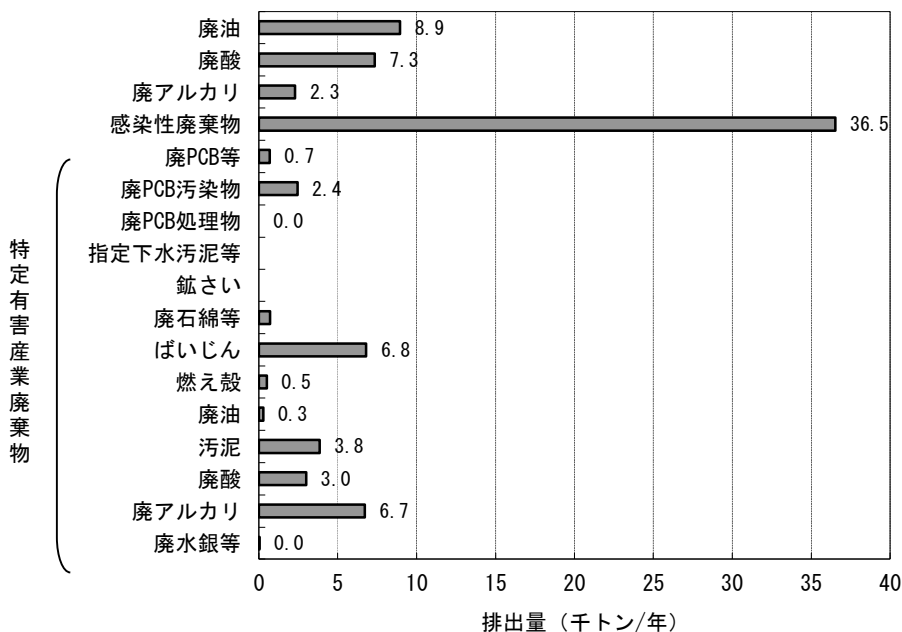


図-3 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量、県内処分量、県外運搬量

表-3 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量、県内処分量、県外運搬量

(単位：トン/年)

		排出量	県内処分量	県外運搬量
合 計		80,083	41,250	38,833
特別管理産業廃棄物	廃油	8,942	4,167	4,775
	廃酸	7,336	4,690	2,646
	廃アルカリ	2,306	846	1,461
	感染性廃棄物	36,526	24,672	11,854
	廃PCB等	687	30	657
	廃PCB汚染物	2,440	500	1,940
	廃PCB処理物			
	指定下水汚泥等			
	鉱さい			
	廃石綿等	698	133	565
	ばいじん	6,798		6,798
	燃え殻	494		494
	廃油	275	156	119
	汚泥	3,846	3,566	281
	廃酸	3,000	1,617	1,383
廃アルカリ	6,704	866	5,838	
廃水銀等	30	8	22	

3. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内・県外別、 運搬先別、品目別運搬量

(1) 県外から県内への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県外から県内への運搬量を整理すると図-4、表-4のとおりである。

県外から県内への運搬量は5,120千トンであり、品目別では汚泥が最も多く、運搬元では東京都が最も多くなっている。

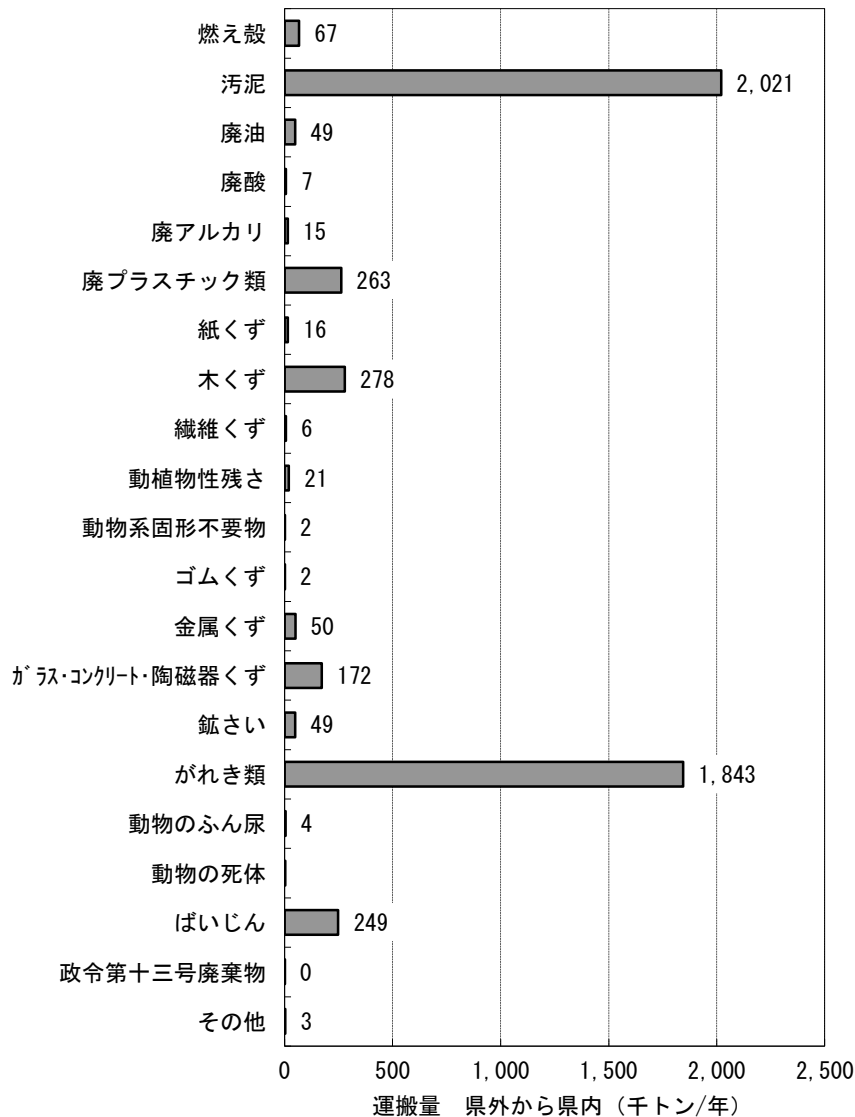


図-4 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内へ品目別運搬量

(2) 県内から県外への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県内から県外への運搬量を整理すると図-5、表-5のとおりである。

県内から県外への運搬量は2,152千トンであり、品目別ではがれき類が最も多く、運搬先では東京都が最も多くなっている。

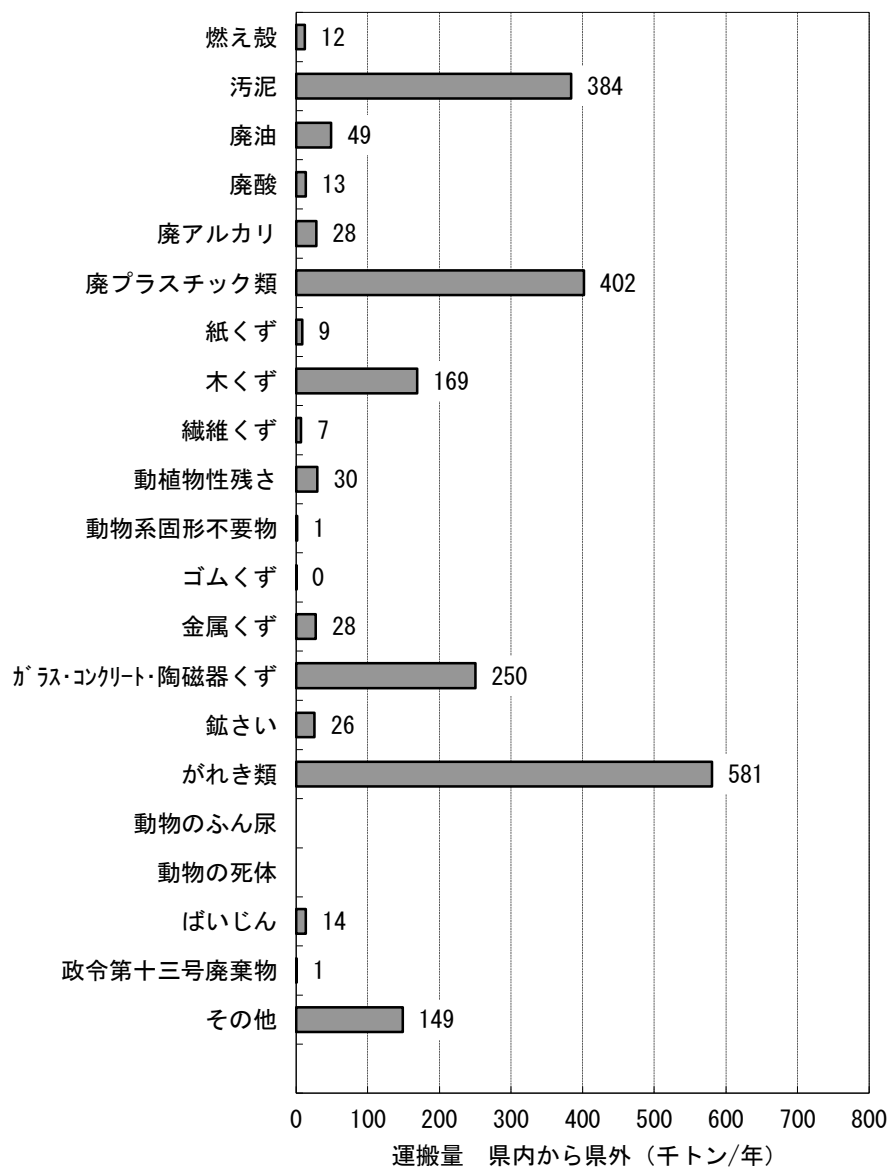


図-5 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県外へ品目別運搬量

(3) 県内から県内への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県内から県内への運搬量を整理すると図-6、表-6のとおりである。

県内から県内への運搬量は2,160千トンであり、品目別ではがれき類が最も多くなっている。



図-6 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県内へ品目別運搬量

表-4 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)の県外から県内への品目別運搬量

(単位:トン/年)

運搬元	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	コムくず	金属くず	リフト・コンクリート・砕石・磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第十三号廃棄物	その他	
北海道	489						333		133						14		9						
青森県	11						3		0					3	6								
岩手県	58		8				3							9	2		36						
宮城県	2,150	74	1,390	10		46	53	1	74	0				29	114		360						
秋田県	2						1																
山形県	38		19				7	0	0	0				1	8								
福島県	122,986	12,929	18,706	865	15	211	1,328	5	46	26			1	22	2,784	12,475	354	73,220				1	
茨城県	199,607	13,079	79,688	4,294	2,872	2,244	12,427	377	1,474	65	7,881	302	904	4,933	11,848	5,787	51,514					59	
栃木県	98,260	320	52,136	11,083	1,611	2,564	9,538	116	1,076	386	633	239	1,091	5,201	4,829	6,669	0	703				56	
群馬県	191,669	3,804	91,694	1,094	230	645	39,999	160	3,076	264	4,428	111	2,123	8,955	2,689	31,748	10					638	
千葉県	368,756	5,168	213,257	4,302	653	2,708	17,446	1,249	10,900	145	534	77	3,565	9,091	4,161	66,311	28,919					268	
東京都	3,946,745	4,209	1,245,272	21,578	660	788	102,154	9,806	130,617	2,452	4,018	604	319	28,116	76,226	831	1,406,950	4,200	3,725	3,035	137	1,048	
神奈川県	349,107	19,740	120,893	2,068	227	2,498	29,900	411	5,461	986	471	991	28	2,985	26,160	8,084	43,932					525	
新潟県	10,138	850	6,183	25		9	1,381	4	21	154		5	24		8	47	322			1,094			
富山県	149	62	81				6		0						0								
石川県	2,233	1,448					782	0	0				1		1		0						
福井県	2						1		1						0								
山梨県	16,014	48	11,085	298	19	3	806	13	1,111	175	35		51	1,714		38			609			9	
長野県	42,360	361	24,338	115	27	0	5,272	29	5,687	205	655		279	407	2,227	2,247			416			94	
岐阜県	2,076		35			129	5	0	197					0		1,710							
静岡県	39,807	3,845	16,822	345	140	1,384	8,272	18	133	3	21		37	1,088	2,060				5,638			3	
愛知県	1,639	213	112	2			531	9	34	0	122	1	40	539	33							2	
三重県	768	362					1	2	0	0				1	13		390						
滋賀県	0						1		0	0													
京都府	161						7	0	143					3	8								
大阪府	7,501		0	0			332	24	2,229	20			1,912	728	2,256								
兵庫県	331		2				54	1	5	25				7	1	237							
奈良県	125								1	0					1	124							
和歌山県	2								2						0								
鳥取県	1								0						0								
徳島県	3								0					3	3								
岡山県	199						1		0						0								
広島県	708	463	1	170	4	5	170	4	5	18	46	0	18	46	0	198	0						
山口県	217		2	0			186	1	0					4	1	23							
徳島県	1								0						0								
香川県	22						1		20						0								
愛媛県	8						8		0						0								
高知県	37						37		0						0								
福岡県	110		1				86	1	3	0				2	17								
佐賀県	3								152						0								
長崎県	152						42	7	0	0				50	17								
熊本県	142													2			26						
大分県	2						0																
宮崎県	0																						
鹿児島県	18						18		0														
沖縄県	343,173	100	89,345	1,107	57	168	17,288	2,198	88,456	658	1,091	191	5,451	28,212	2,083	106,191	0					566	
さいたま市	112,043	1	14,697	540	75	737	9,026	458	7,608	41	575	35	76	1,073	40	74,473						93	
川崎市	42,713	8	14,253	1,079	5	84	1,979	246	5,429	19	179		153	564	1,347	0	17,317					57	
横浜市	117,268	8	20,530	243	149	345	3,738	593	14,140	69	113		19	1,330	2,390	173	73,361					69	
不明																							
県外一県内	5,119,996	67,083	2,020,560	49,050	6,739	14,564	263,221	15,734	278,233	5,695	20,755	1,631	1,521	49,700	172,400	49,496	1,843,157	4,200	3,725	248,905	138	3,488	

表-5 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県外への品目別運搬量

運搬先	産業廃棄物																		合計			
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不棄物	コムくず	金属くず	リフト・サウ・機器く	鉢さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体		ばいじん	政令第十三号廃棄物	その他
北海道	1	3	0	0	0	1,298	367							0	1					177		353
青森県		108				157																104
岩手県						3,353									1,151							
宮城県	2,076	8,515	10	29,532	43	2,370	555	319						17	348					3,557	88	11,459
秋田県						1,308																9,533
山形県	174	1,444	7	15	0	885		122							191							7,274
福島県	645	4,981	643	1,355	745	6,061	249	14,772	273	7,455			7	443	134					530		20,768
茨城県	1,104	36,066	16,270	2,874	8,308	38,461	503	2,237	1,965	3,186			5,696	14,027	4,585				1,490		18,373	
栃木県	203	26,309	15,423	636	360	198,936	1,670	47,646	4,249	5,672			1	1,408	4,339				30		8,065	
群馬県	168	119,961	3,181	1,045	8,627	9,172	904	27,071	126	6,088			2,030	32,557	17,183				3,391		13,797	
千葉県	1,022	72,698	10,589	4,770	642	46,861	3,427	18,478	119	5,922	1,417		21	9,090	44,043				15		22,463	
東京都	2,747	44,397	948	4,700	1,876	26,155	72	762	6	889			913	9,251	1,853				1,427		7,581	
神奈川県		30			132	5,285	260	157	82					4							1,636	
新潟県	477				1																20	
富山県						56																
石川県						2,329																
福井県		0				22		228					0								264	
山梨県		2,816	0	741	140	24							0								206	
長野県													4	69							656	
岐阜県		1,559	2		1,230	2,327	4	45	5				8	287							544	
静岡県	280	14,023	8			826							10	1,136	18				352		2,069	
愛知県	50		17			38			96					9							11,296	
三重県																						
滋賀県																						
京都府																						
大阪府						5															1	
兵庫県		1,122	10	2	0	2,533							5								693	
奈良県																					0	
和歌山県						195															431	
鳥取県		63	160			268							9									
島根県																						
岡山県		408				55							4								0	
広島県	3,276	822	325	0	0	112		68					0						189		1,185	
山口県						191																
徳島県																						
香川県																						
愛媛県																						
高知県																						
福岡県		30	1	1	1	5	4	8					0	2								
佐賀県																						
長門県																						
熊本県																						
大分県																						
宮崎県						384		22							38							
鹿児島県																						
沖縄県																						
さいたま市	4	34,212	98	889	926	4,936	5	2,662	1				5,028	8,276	21					2,480	2,849	
川崎市		63	946	260	47,280	386	52,593	386	131	100			1	2,487	29,046						6,460	
横浜市		5,885	0	400	5,282	8	0	1					68									110
名古屋市		8,887			188	440		1,635					68	10,434								451
県内一県外	12,227	384,042	49,046	13,393	28,313	402,046	8,847	168,826	7,053	29,889	1,417	23	27,613	250,165	25,794				13,637	773	148,579	

(単位：トン/年)

表-6 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

産業廃棄物		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不棄物	ゴムくず	金属くず	リガラ トス・コンク リ ず 陶磁器く ず	鉢さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第十三号廃棄物	その他
県内→県内	合計	7,037	342,821	8,685	1,511	3,102	172,668	9,601	147,380	3,496	19,362	531	880	29,467	161,610	32,012	1,185,991	7	1	8,240	2	25,223

4. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量

(1) 県外から県内への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県外から県内への運搬量を整理すると図-7、表-7のとおりである。運搬量の総量は11千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、運搬元では茨城県が最も多くなっている。

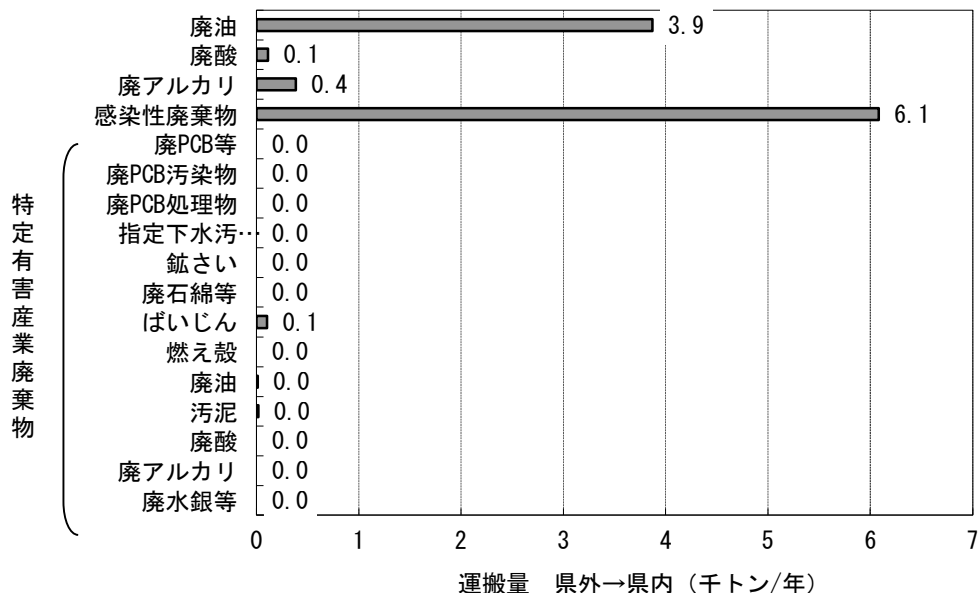


図-7 特別管理産業廃棄物の県外から県内への品目別運搬量

(2) 県内から県外への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県内から県外への運搬量を整理すると図-8、表-8のとおりである。運搬量の総量は40千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、運搬先では群馬県が最も多くなっている。

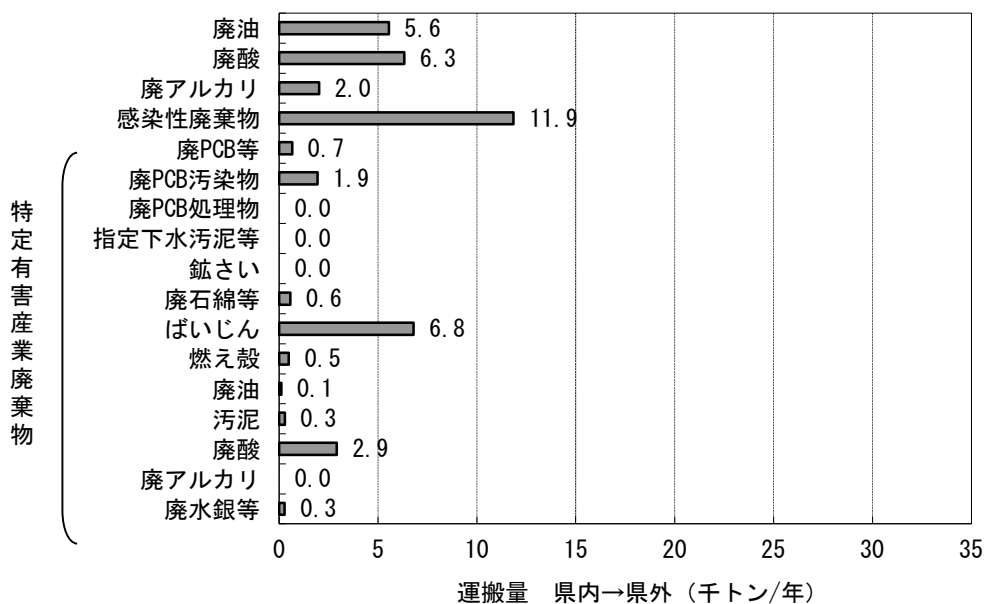


図-8 特別管理産業廃棄物の県内から県外への品目別運搬量

(3) 県内から県内への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県内から県内への運搬量を整理すると図-9、表-9のとおりである。運搬量の総量は7千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多くなっている。

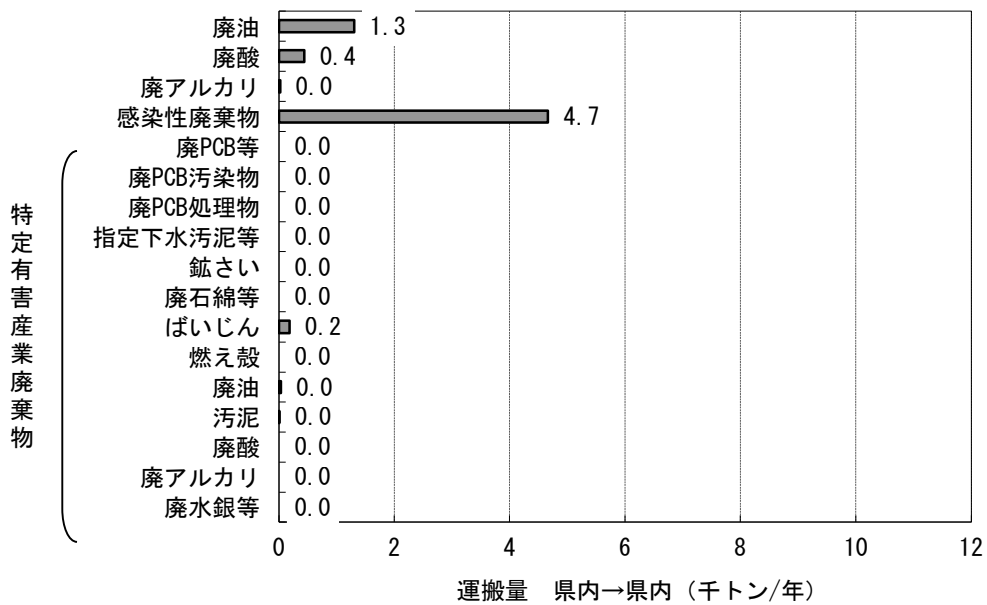


図-9 特別管理産業廃棄物の県内から県内への品目別運搬量

表-7 特別管理産業廃棄物の県外から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	合計	特別管理産業廃棄物										特定有害産業廃棄物											
		廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等	廃PCB汚染物	廃PCB処理物	指定下水汚泥等	鉱さい	廃石綿等	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等					
北海道																							
青森県																							
岩手県	1																						
宮城県	11																						
秋田県																							
山形県																							
福島県	281																						
茨城県	2,917	1,480	22	10	1,406																		
栃木県	1,070	70	3	17	979																		
群馬県	1,840	759	42	3	1,023																		
千葉県	220	108	2	11	19																		
東京都	1,212	220	5	7	953																		
神奈川県	949	504	2	333	111																		
新潟県	125	66			60																		
富山県																							
石川県	8																						
福井県																							
山梨県	39	32			3																		
長野県	165	98		3	63																		
岐阜県																							
静岡県	43	34			9																		
愛知県	5				5																		
三重県																							
滋賀県																							
京都府																							
大阪府																							
兵庫県																							
奈良県																							
和歌山県																							
鳥取県																							
島根県																							
岡山県																							
広島県																							
山口県																							
徳島県																							
香川県																							
愛媛県																							
高知県																							
福岡県	0				0																		
佐賀県																							
長崎県																							
熊本県																							
大分県																							
宮崎県																							
鹿児島県																							
沖縄県																							
さいたま市	464	34	0	0	430																		
川崎市	966	49	0	1	916																		
川口市	96	10	37	0	49																		
越谷市	169	116	0		52																		
不明																							
県外一県内	10,560	3,871	112	385	6,079																103	13	17

表-8 特別管理産業廃棄物の県内から県外への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物											特定有害産業廃棄物										
	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	指定下水汚泥等	紙さい	廃石棉等	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等				
北海道	219	0	0	0	0	213												5				
青森県	13										13											
岩手県																						
宮城県	419	151			0					90								177				
秋田県	25																					
山形県																						
福島県	4,422	59	2	12	0					10	4,289			1	27	7	15	0				
茨城県	3,609	619			318					78	2,372	221						0				
栃木県	3,171	1,377	402	638	1									10	3	688	51	0				
群馬県	8,409	278	1	25	7,844	159	16			63				5	17		0	1				
千葉県	3,369	1,515	88	182	9									36	113	1	1,405	20				
東京都	4,506	20	4	31	2,148	275	1,844			107				1	1	41	1	32				
神奈川県	7,800	148	1,973	148	1,535	8				22	137	273		65	82	504	2,973	22				
新潟県	235		85	149											0							
富山県																						
石川県																						
福井県																						
山梨県																						
長野県	513	1	86	273	0													0				
岐阜県	137									137												
静岡県	1,366	0																1,366				
愛知県	0									0												
三重県	65	23								42												
滋賀県																						
京都府	3									3												
大阪府																						
兵庫県	21	14	3	3										0	0	1	0					
奈良県																						
和歌山県																						
鳥取県	72	71	0			0																
島根県																						
岡山県	383	302				0	80															
広島県	180	150	0	0										0	29	0	0					
山口県																						
徳島県																						
香川県																						
愛媛県	3					3																
高知県																						
福岡県	23	21	0	0	0									1	0	0	0					
佐賀県																						
長崎県																						
熊本県																						
大分県																						
宮崎県																						
鹿児島県																						
沖縄県																						
さいたま市	1,579	11	720	208	0					2				0	6	20	613					
川崎市	801	773	2,962	349	1									2	0	0	0	26				
川口市																						
越谷市																						
県内一県外	39,826	5,560	6,328	2,017	11,856	657	1,940			567	6,798	404	121	286	2,919			283				

表-9 特別管理産業廃棄物の県内から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物														合計		
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等	廃PCB汚染物	廃PCB処理物	指定下水汚泥等	鉱さい	廃石棉等	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥		廃酸	廃アルカリ
県内→県内	1,305	440	22	4,664							181		35	3			
	6,650																

5. 産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量

県内での産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の最終処分量を整理すると表-10のとおりである。

最終処分量は11千トンとなっており、県内での最終処分量は、県内から県内への最終処分量が全てを占めている。また、県内での最終処分量の約80%が廃プラスチック類である。

表-10 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内、県内から県内、県内から県内への品目別最終処分量

(単位：トン/年)

運搬元	合計	産業廃棄物																						
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リ・ガラス・コンクリート・陶磁器くず	びん・さし	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	その他		
県外→県内																								
県内→県内	11,138	2,000				8,938										200								
合計	11,138	2,000				8,938										200								

6. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量

県内処分業者による特別管理産業廃棄物の最終処分量の実績は、昨年度と同様に実績がなかった。

令和2年度
埼玉県産業廃棄物処理実績報告書等集計業務報告書
(令和元年度実績)

令和3年3月発行

埼玉県環境部資源循環推進課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-830-3108
FAX 048-830-4091



埼玉県のマスコット「コバトン」